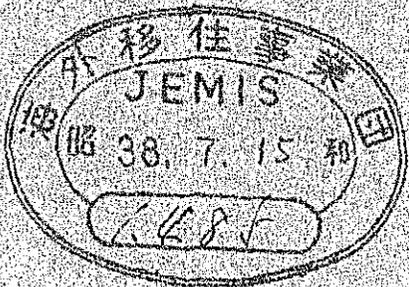


移住ハンドブック
— 第一編 —

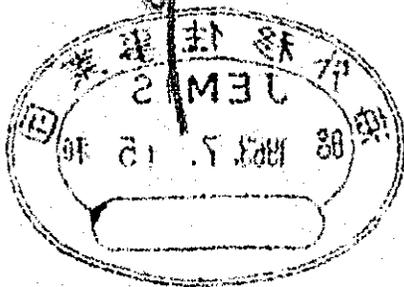




ドミニカの移住地

移住ハンドブック

— 第 一 編 —



国際協力事業団

受入 月日	'84. 8. 20	R700
登録No:	13081	23.4
		EA

序

日本の海外移住も年々活潑になってきた。新しい天地に新しい生活を求めて移住されて行く方々も次第に多くなってきている。私共は益々努力してこの事業を推進して行かなければならない責任を痛感するものである。それには海外へ移住せざる方々に充分現地の事情を知って頂くと共に、移住者としての確固たる心構えをもって頂くことが大切である。この書はこのような意味で発行するものである。海外へ移住する方々のために些かでも参考になれば幸甚である。

昭和 33 年 5 月

日本海外協会連合会

会長 坪 上 貞 二

目 次

日本人と海外移住	1
移住できる国々	1
ドミニカ	7
ブラジル	7
アルゼンチン	12
パラグアイ	26
ポリビア	32
アメリカ	38
海外実習生	43
東山農場研修生	46
海外へ移住するには	47
豆 辞 典	54

中南米地図



日本人と海外移住



日本人はいつ頃から海外へ発展して行ったかといいますと、すでに東南アジア方面へは幕末の頃から進出しておったのです。しかし、大平洋を横断して南北両アメリカ大陸へ移住を開始したのは明治の時代になってからでありました。

明治元年（1868年）にその当時は独立国であったハワイ国に153名の移住者が渡りましたが、これがいわば日本人の海外移住の始めでもありました。もっとも、ハワイへの移住はその後一時途絶えておりましたが、明治18年（1885年）に至って再開し、その後は毎年何千名という移住者がハワイに渡り明治41年（1908年）まで続きました。

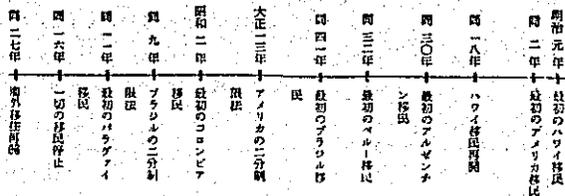
一方、アメリカ本国への移住もハワイについて古く、明治2年（1869年）にオランダ人スネールにひきいられる松平藩の一行

40名の移住者がカリフォルニアに若松コロニーを建設したに始まりました。

その後、アメリカはハワイ移民とともに明治時代における日本人の海外移住の花形となりましたが、永年にわたる排日運動で年々その渡航が困難となり、ついに明治40年（1907年）の紳士協定で自ら移住者の渡航を制限せざるを得なくなり、さらに大正13年（1924年）の二分制限法によって、全くその渡航が禁じられてしまいました。

いずれにしても、日本人が最初に海外に移住したのが明治元年ですから、今年（昭和33年、1958年）は丁度90周年にあたるわけであります。

さて、南米への移住はいつ頃から始まったのでしょうか。南米のうちで日本人が最初に出かけて行った国はペルーでした。明治32年（1899年）が最初の年で以後ペルー



へは昭和16年（1941年）までの50年間に、33,070名の
人達が移住されました。丁度これと同じ期間にメキシコ
へは、14,383名の移住者が渡っています。

ところで、移住者といえば直ぐブラジルを思い出すほ
ど、この国は日本ときってもきれない深い関係にありま
すが、このブラジルへは明治41年（1908年）に笠戸丸と
いう船で781名の移住者が渡航したのが最初で、それ以
後昭和16年（1941年）までの40年間に、188,986名の入
達が渡伯しました。明治41年といえば今から丁度50年前
です。そこで、今年がブラジルでは40万の在伯日系人が
こぞって「日本移民50周年」を記念して盛大な行事を開
催することになっています。

ブラジルのお隣りのアル
ゼンチン、この国は音楽を
通して私達には馴染みの深
い国ですが、日本人の移住
はそれほどさかんではなく
明治41年から昭和16年まで
の期間に5,398名が移住し
ました。

ブラジルの二分制限法

昭和9年（1934年）以前50
年間にブラジルに移住した
人数に応じ毎年の入国許可
数をその2%に制限すると
いう法律で、このため日本
人移住者は年間約2850名と
なった。

以上のように戦前の海外移住は大体ハワイ・北米時代にはじまって、やがて南米時代へと移り、そして第二次世界大戦の勃発によつて中止されるという経路を辿りました。



いずれにしても、戦後わが国の海外移住が年々さかんになつて来ますのも、これら先輩移住者の努力と奮闘によることはいふまでもありません。

さて第二次大戦で一時途絶えておりました海外移住は戦後はどのような経路を辿っているのでしょうか。

昭和16年に中止された日本人の海外移住は約10年の空白をのこして昭和27年に至って再開されました。同年12月28日神戸出港の大阪商船サントス丸で、アマゾン流域においてシュート栽培に従事する54名の移住者を送り出したのが再開第一陣でありました。以後、移住者の数も年々増加し、翌28年には1,498名、29年には3,741名、31年には、6,603名、30年には3,514名、そして32年には7,439名、計22,849名の人達が政府から渡航費の貸付を受けて移住していったのであります。もちろん、なかには渡航費を自辨して行かれる方もあるわけですから、実際にはも

っとたくさんの方々が海外に移住されているわけです。

移住先は何といってもブラジルが筆頭ですが、昨年あたりからはドミニカ、パラグアイへの移住もさかんに行われるようになり、また去年からはボリビアへの進出がこれに加わり、さらに今年からアルゼンチンへの移住が本格化されようとしております。

なお、北米の方は昭和27年制定のマツカラン法により年間185名の移住が認められているほか、昭和28年に米国議会を通過した難民救済法によって、これまでに、1,006名の方々が米国に移住されました。また一昨年からはカリフォルニアの農園に半年契約（三カ年まで更改）で青年農業労務者を派遣することになり、すでに約

豆 戸 丸

明治41年、第一回ブラジル行日本人移住者781名を乗せて大平洋を横断した歴史的な船である。その年の4月28日神戸出帆、6月18日にサントスに到着した。この船の前身は3年前の日本海海戦で打負かしたロシアのバルチック艦隊の病院船カザリン母で、6,000トン級の船である。

1000名の青年諸君が現地で働いております。

この種の2年乃至3年契約で海外に出て働くものとして戦後において一寸変わったところではクエート（ペルシア湾沿岸にある英国保護領）への技術者派遣、西ドイツへの炭

鉱労働者の派遣などがあります。

このようにして戦後の日本の海外移住も次第に活潑となつて来ました。そして今年は一万名の移住者を中南米の各国へ送り出そうと計画されているのであります。

在 外 日 系 人 数 一 覧

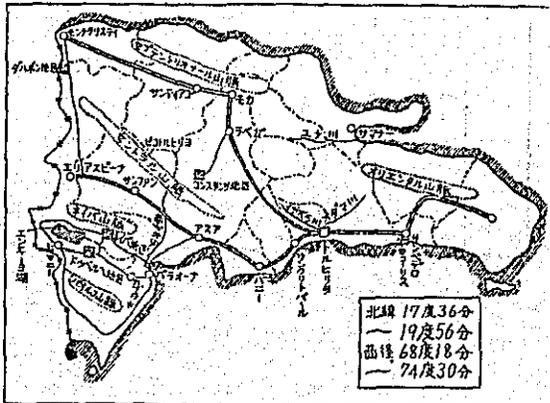
昭和33年3月末現在

北 米	米	回	本	土	142,000人
	ハ		ワ	イ	185,000
	カ		ナ	グ	22,000
中 米	メ	キ	レ	コ	5,600
	キ	ム	ー	バ	700
	ド	ミ	ニ	カ	900
南 米	ペ	ネ	ズ	エ	140
	コ	ロ	ン	ビ	500
	ペ		ル	ー	40,000
	チ		リ	ー	700
	ブ	ラ	リ	ル	400,000
	ボ	リ		ア	2,000
	パ	ラ	グ	ァ	4,500
ア	ル	ゼ	ン	10,500	
ウ	ル	グ	ァ	170	

移住できる国々

現在、日本人が移住できる主な国は中米のドミニカ、南米のブラジルをはじめ、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビアなどの諸国であります。そして、これらの国々への移住は今後も大いに発展するであろうと期待されています。次にその概略を解説してみましょう。

ドミニカ



〔概説〕 メキシコ湾の東方カリブ海にあるセント・ドミンゴ島の東部3分の2を占め、西はハイチ共和国と境を

接しています。

面積は日本の九州と四国を合わせたよりやや小さく、人口は約240万、人口密度は46人に達しラテン・アメリカ諸国のうちでハイチ、サルバドル、キューバに次いで第4位です。

ドミニカ 早わかり		
主要都市	トルヒョ(首都) サンチアゴ サン・ペドロ・デ・マコリス	181,000人 62,500人 24,200人
国語	スペイン語	
宗教	カトリック	
独立日	2月27日(独立記念日)	
通貨	ペソ=360円	
政体	共和制 選挙権は男女とも18歳以上の成年に与えられる 現大統領 エクトル・トルヒョ・モリーナ	
輸出品	砂糖、コーヒー、カカオ、煙草	
輸入品	綿製品、食料品、機械、自動車類、石油、薬品、電気器具、建築材料、紙類	

(日本の人口密度245人) しかし、人口が都市および地方都市に集中しているため、農村とくに西部国境地帯は人口稀薄で未開の山林原野がまだたくさん残されています。

地勢は4つの山脈が東西にはほぼ平行して走っており、これらの山脈の間は地味豊かな溪谷または平野となっています。

この国は四季の別がなく一年を通じて常夏でいわゆる熱帯圏に属していますが、摂氏32度を超えることは稀で貿易風の関係で極めて涼しいところです。5月から11

月が雨期となっており、雨量は東南部の低地帯に下りるに従って多くなっています。人種の構成は白人13%、黒人20%、白黒混血67%となっていますが、国語はスペイン語で国民の大多数はカトリックを信仰しています。

この国のトルヒーリョ大統領は大の親日家で自国の国内開発は是非とも日本人の手でという強い希望があって移住が実現しただけに待遇はすこぶるよく、戦後移住のニューフェイスとして話題をまいている国であります。

ドミニカの主要産物は砂糖を筆頭にコーヒー、カカオ、タバコ等ですが、日本の移住者はそれぞれの入植地に於て一年生作物としてはマンジョカ(ユカ)、トウモロコシ、落花生、タバコ、米、豆類その他の野菜類、永年作物としてはコーヒー、バナナなどを栽培して相当の成績を収めています。

ドミニカ国物価表		
1,957年 11月初		
品名	単位	価格
カカオ	1ポンド	2.5
コーヒー	1ポンド	1
タバコ	1箱 (10コ入)	4.5
トウモロコシ	1ポンド	0.2
豆	1ポンド	0.2
塩	1ポンド	0.2
甘蔗	1ポンド	0.2
綿	1コ	2
大姓(木製)	ノ	1.5
灰	皿	1.5
ハンモック	ノ	5
椅子	ノ	2
スキ	ノ	90
ホーロク	ノ	30
白(植米用)	ノ	10

1ペソ=360円

ドミカへの移住は昭和31年7月から開始されましたが、すでに入植地も5カ所以上になっています。最近では全国のコーヒー園への入植計画が進められています。

〔入植条件〕（各入植地によって多少異なるが原則としては大体次の如くである）

1. 家族構成 一夫婦を基幹として6名程度の自然家族であり、世帯員中には原則として満12才以上の稼働者3人以上を有すること。世帯には父母及び子供以外の同伴者を含むことは絶対にさけること。
2. 携行資金 約10万円程度
3. 土地 入植地によって異なるが一家族あたり6町歩程度の土地の無償使用が許可され、将来ドミカ国法律の諸要件を充足の上は無償で譲渡される見込みである。
4. 栽培作物 入植地によって異なるが米、落花生、煙草、トマト、ユカ、馬鈴薯、蔬菜類、果樹、コーヒー等
5. 施設 洋式の個人住宅が提供され、保健衛生施設、教育施設等ド国政府の負担により完備されている。
6. 種子・肥料等 種子は第1回作付に限ってド国より支給

ハボネツサ

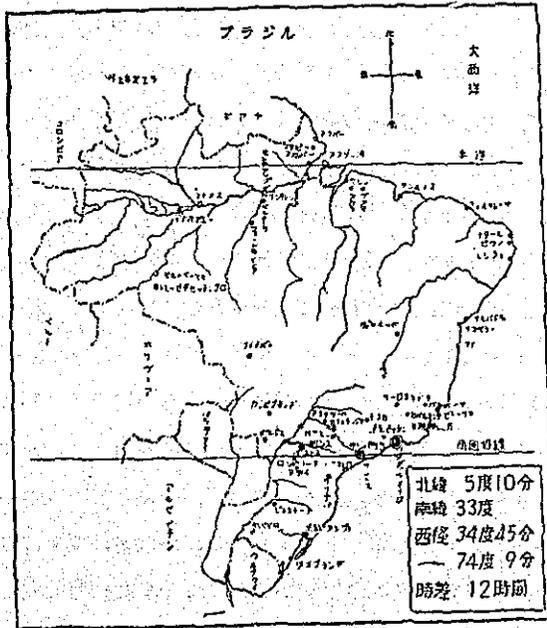
スペイン語で「日本婦人」という意味。現ドミカ大統領の兄さんにあたるラファエル・トルヒーリョ元帥は大の親日家として有名であるが、そのこりかたは自分の嫁や娘さんにもハボネツサという洗礼名をつけるほど。なお「日本男子」を表現する場合にはハボネスといわなければならない。

(無償)される。肥料及び殺虫剤は下国当局においてその必要ありと認める場合にのみ第1回作付に限って支給(無償)される。

7 教育施設 分教場が入植地近傍にない場合は下国政府の負担により設置される。教科書、文房具は支給(無償)され授業料はいらぬ。

コンスタンサ地区			ネイーバ地区			
1952年調			1953年調			
気温		雨量	気温		雨量	
最高	最低		最高	最低		
1月	22.5C	6.3C	21.8	28.0C	21.6C	41.1
2月	24.7	8.6	17.6	29.3	23.2	1.0
3月	25.9	9.4	42.5	30.2	24.7	5.9
4月	25.9	12.3	241.7	31.9	26.2	21.1
5月	26.3	12.8	296.4	31.3	25.5	366.1
6月	26.2	12.6	62.0	31.4	26.0	49.0
7月	25.5	13.6	111.2	32.3	26.9	19.5
8月	28.0	12.5	45.7	32.6	27.3	8.6
9月	28.8	13.2	158.8	31.6	26.4	49.9
10月	25.9	11.9	28.2	30.9	26.1	59.0
11月	26.0	10.0	12.4	30.2	25.0	41.6
12月	23.9	7.7	6.9	29.5	24.0	8.9
平均 又は計	25.8	10.9	1,035.2	30.8	25.2	670.7

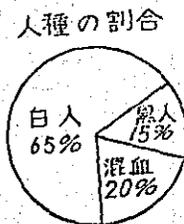
ブラジル



【概説】 海外移住といえばブラジルを連想するほど日本人にはなじみの深い国です。日本人の移住が始まったのが明治41年ですから今年は丁度50年で、現在日系人の数は2世、3世を含めて約40万に達しています。このう

ち約17,000名は昭和27年以降33年3月までに入った入達
です。

ブラジルは南米最大の国で面積は日本の22倍、これに
比べて人口は僅かに6千万人、人口密度は僅か6.7人ほ
どで、従って未開拓の原野を無限に持
っています。南米各国の中でブラ
ジルだけがポルトガル語を国語
としていますが、宗教は他の諸
国と同様、国民の大半がカトリックを
信仰しています。



この国の産業の中、最も発達しているのは農業で特に
コーヒーの生産は世界の総生産額の55%を占めていま
す。その他、綿、米、小麦、カカオ、砂糖キビ、フェジ
ョン豆、大豆、煙草、トウモロコシ、馬鈴薯、ゴム、シ
ュート、コショウ等の生産がさかんで、また一方養鶏、

養蚕も発達しており、牧畜の方も年々
さかんになっています。



この国の人種構成は白人65%、白人
・黒人・土人の混血が20%、黒人が15
%となっています。

ブラジルは便宜的には北部ブラジル（アマゾン河流域）、中部ブラジル、南部ブラジルの三地域に大別されます。

北部ブラジル この地域への移住はアマゾン河流域に開設された植民地にそれぞれ独立して入植する計画移住者が中心です。現在、この地域には約5,000名の日本人がおり、この中約4,000名が戦後に移住した人達です。この地域の気温は大体摂氏25度から30度位ですが海流等の関係で気温の高い割にはしのぎやすく、雨量も多いところです。一面に森林が密生しており従って人口も稀薄で密度は0.5人ほどです。

この地域の日本人入植地は各地に散在していますが、昭和32年からアマゾン下流の支流グアマ河畔にある植民地への日本人の入植が進められ米作を中心として果樹、ゴム、デンデ椰子などの栽培、乳

		1957年10月期	
品名	単位	数量	価格 （ブラジルレール）
カカオ豆	トン	10	20
カカオ豆	トン	10	16
ココナツ	トン	10	70
ココナツ	トン	10	25
ココナツ	トン	10	74
ココナツ	トン	10	14
ココナツ	トン	10	34
ココナツ	トン	10	35
ココナツ	トン	10	155
ココナツ	トン	10	6
ココナツ	トン	10	60
ココナツ	トン	10	60
ココナツ	トン	10	4
ココナツ	トン	10	5
ココナツ	トン	500	125
ココナツ	トン	10	80
ココナツ	トン	10	100
ココナツ	トン	10	150
ココナツ	トン	10	120
ココナツ	トン	10	50

上記はベレン市に於ける物産であるが、コスタは20トン、さらに他産物は80-100トンとなっている

1クワイルロ=4リ

牛、密蜂の飼育などにたずさわっていますが、将来、この地域への移住は有望であります。

最近はまだアマゾン河口から約1600軒さかのぼったマナオスの近くのイタコアチアラ移住地、それからマナオスまで行く途中にあるサンタレンから支流をさかのぼったところにあるフォードランジャ移住地への自営開拓農の入植が具体化されています。なお、アマゾン地域における日本人移住者の功績については24頁を参照して下さい。

中部ブラジル リオ・グランデ・ド・ノルテ、パラíba、ペルナンブーコ、バイア、ミナスジエラエス、マットグロッソ、ゴヤス州その他の中部地帯です。この地方へは昭和28年以來、ドラー

ドス連邦植民地（マット・グロッソ州）、ウナ連邦植民地（バイア州）、イツベラ連邦植民地（バイア州）、ジャイ

ーバ連邦植民地（ミナス・ジエラエス州）、ピウン連邦植民地（リオ・グランデ・ド・

7・1取極

○…昭和29年7月1日、ブラジル農務省管轄下の移植民院（INIC）と松原安太郎氏、辻小太郎氏との間にきめられた取極で、これによって前者には中部ブラジルに四千家族、後者に対しては北部ブラジルに五千家族の日本人移住者の入植が許可された。

ノルテ州) 等に日本人も入植しておりますが、将来は地味の点でも気候の点でも農耕に適しているマツト・グロッソ州への移住が有望であります。

南部ブラジル リオデジャネイロ、サンパウロ、パラナ、サンタカタリーナ、リオグランデドスール州などですが、この地方の大部分は高台地で肥沃な土壌と温和な気

候に恵まれ、ブラジルでも最も産業が発達しているコヒーの生産もこの地方で行われます。日系人もその大半がここに居住しており移住者として成功した人もたくさんいます。そして、これらの人達が自分達の農場で働いて貰うために日本人を呼寄せているのです。もちろん外人の地主の中にも日本人の優秀性とくに農業技術の秀れている

ブラジル早わかり		
主 要 部 市	リオデジャネイロ (首都)	260万人
	サンパウロ (サンパウロ州首府)	300万人
	サントス	25万人
	レジーフォ (ペルナンブコ州首府)	60万人
	サルバドール (バイア州首府)	45万人
	ポルトアレグレ (リオグランデドスール州首府)	60万人
	ベロオリゾンテ	40万人
部	ベレン (パラ州首府)	28万人
	マナオス (アマゾナス州首府)	13万人
国 語	ポルトガル語 (ブラジル語)	
宗 教	カトリック	
国 旗 日	9月7日 (独立記念日) 11月15日 (共和制樹立記念日)	
通 貨	クルゼイロ 4円 コント 4,000円	
政 体	連邦制・共和制 選挙権は18歳以上の男女成年に与えられる 現大統領はジュゼリーノ・クビテック・デオリヴェイラ	
輸 出 品 類	コヒー、カカオ、綿	
輸 入 品 類	小麦、ガソリン、燃料油、自動車及び部品、機械及び部品	

ことをよく知っていて日本人を呼寄せ
ている人もたくさんあります。南部ブ
ラジルではやはりコーヒー園に入る人
が多いのですが、野菜作りや果樹栽培
それに養蚕、養鶏方面の仕事に従事す
るため呼寄せられていく人もたくさん
います。また日本人の創った南米第一
の組合であるコチア産業組合では日本
農村の2・3男の独身青年の受入れを行なっており、す
でに33年3月末現在で約1,500名の青年が移住し元気で
働いています。



なお、最近の傾向として単にサンパウロ州に限らずパ
ラナ州、リオグランデスール州あたりへの移住も漸次
さかんになってきております。

〔入植条件〕

北伯グアマ植民地（北部ブラジルは大体これに準する）

1 家族構成 満50才未満の夫婦を基幹とし、夫婦
を含めて満15才以上50才未満の働き手が3人以上ある
こと。満50才以上55才未満の夫婦が基幹の場合は家長
を補佐し得る満21才以上の稼働男子2人以上を有する

こと。

但し、いずれの場合も3親等以内であること。

- 2 携行資金 10万円以上
- 3 土地 20町歩があつた旋される。地価約2万5千円。但し立替払
- 4 栽培作物 米、ゴム、デンデ椰子、果樹、野菜
乳牛、蜜蜂の飼育
- 5 施設 伯国は療養所、教育施設、交通、生産物の運搬、道路開設その他技術援助等について無償で助成する。なお入植初年度の生計維持費として毎月家長に対し5千円、家族中18才以上の稼働者たる子弟に対してはその半額を、それぞれ10カ月から15カ月間融資する。この融資は入植後3カ年で返済する。

コーヒー園呼寄せ移住者

- 1 家族構成……北伯グアマ植民地の場合と同じ
- 2 携行資金 1～3万円以上
- 3 契約期間 3～4年
- 4 労働契約基準 (イ) コーヒー樹1千本当りの手入賃として3千～4千クルゼイロス(1クルゼイロ約4円)で12カ月分割払。大人1人の請負樹数は2

千本～3千本

- (四) コーヒー採集賃100～120入の1俵につき20～30クルゼイロス 1千本につき約30俵の収穫がある
- (五) 日雇の場合は50～60クルゼイロス
- (六) 住宅はおおむね無料で貸与される
- (七) コーヒー樹間の栽培(間作という)はコーヒーが幼樹の場合には米、トウモロコシ、豆などが許さ

コーヒーコロノ年間收支計算表

1957年試算

収 入	支 出
コーヒー請負手入賃 7,000本 @ 4,000 cr\$ 28,000 cr\$	主食 米12俵 @ 1,000 cr\$ 12,000 cr\$
コーヒー実採取賃 250俵@30 cr\$ 7,500 cr\$	その他 2,500 cr\$ 衣服 6人分@1,000 cr\$ 6,000 cr\$
日給賃銀 50日 @ 60 cr\$ 3,000 cr\$	小麦粉6俵@350cr 2,100 cr\$
間作余作収入 1/4アルケール 穀 30俵@ 420 12,600 cr\$	調味料 砂糖5俵@360 cr\$ 1,800 cr\$
玉蜀黍3カーロ @ 1,100 cr\$ 3,300 cr\$	光熱(油その他) 500 cr\$
	その他 2,400 cr\$ 種苗 2,400 cr\$ 農具(エンシャ グ等)
	副 食 フェジ ャン(豆) 3俵 @600 cr\$ 1,400 cr\$
	雑貨(医薬その他) 2,500 cr\$
	牛肉120冠@40cr\$ 4,800
	鶏 30羽@40 cr\$ 1,200 cr\$
合計 54,400 cr\$	合計 43,700 cr\$ 差引余剰10,700 cr\$

(注) (イ)ナンパウロ州奥地中層地に於ける6人家族、労働人員3名の標準家族に例と
 とる。(ロ)カーロとは「牛車一ぱい」という単位

れる。食糧および飼料自給のための余作地として請負コーヒー樹数1万本につき2町5反が与えられる。その他、普通、住宅の裏側に1反歩内外の自家菜園が与えられる。

養蚕雇用移住者

1. 家族構成 北伯グアマ植民地の場合と同じ
2. 携行資金 3万円位
4. 契約期間 2年～3年
4. 労働契約基準

(i) 契約期間の第1年目は

大人1人の日給40～60クルゼイロスで働く。

第2年目は利益の分配を雇用主25%，被雇用者75%の歩合で請負う。3年目は独立して自営することもでき、また契約を更新することも出来る。

(ii) 蚕室、桑園は原則として引受者が用意し無料で貸与する。蚕種代は主として自己負担である。

(iii) 住宅はおおむね無料貸与

品名	単位	価格	価格 クルゼイロ
米	1升		30
小麦粉	kg		13
コーン	kg		1
牛乳	1升		1.6
牛肉(乾)	kg		43
白砂糖	kg		13
塩	kg		7
バナナ	1本		0.4
トマト	kg		20
卵	1ツ		3
コーヒー	kg		2.5
タバコ	20本		10
ビール	1本		14
散髪料	1回		30
洋服(上・下)	1着		2,800
靴(革)	1足		350
ワイシャツ(木綿)	1着		200
新聞	1部		2
市内電車	1区間		2
市内バス	1区間		3.5

コチア産業組合呼寄青年

1. 年 令 義務教育を終えた満18才～25才の者。

主として農家の2.3男。

2. 体 格 身長1米55㎝、体重50㍗、胸囲77.5㎝
以上の者であること

3. 携行資金 2～3万円

4. 契約期間 4年

労働契約基準

(イ) 給料はその地方の一般
水準に準じて支給される。

普通、月に700～800ク

ルゼイロス、半年～一年

後には100～200クルゼ

イロスの昇給がある。

(ロ) 住宅は雇主が無料で提供する。

(ハ) 配属される農場は主としてコーヒー園、養鶏場
蔬菜果樹園等。

コチア産組

○…昭和2年、サンパウロ
州コチア郡において83名の
日本人が290コントス(1コ
ント=約4千円)を出資し
て創業したにはじまり、随
来進展の一途を辿って現在
ではサンパウロ全州並びに
隣接諸州にわたって約5千6
百名の組合員を有し、(日系
人はその60%)自己資金も
約10万コントスに達してい
る南米第一の組合。事業内
容は販売、購買、信用、利
用の四種である。

ブラジル気温統計表

(単位 摂氏) 1,956年對

州(領)名	地 名	最 高	月 日	最 低	月 日
連 邦 区	リオ・デ・ジャネイロ	37.9C	1月9日	13.9C	8月2日
リオ・デ・ジャネイロ	ニ ー ー ロ イ	39.4	1月31日	8.8	6月3日
サン・パウロ	サン・パウロ	33.1	2月9日	1.5	6月1日
パラナ	クリチーバ	31.1	2月15日	4.0	8月1日
サンタカタリーナ	フロリアノポリス	34.6	2月1日	3.9	8月1日
リオ・グランデ・ド・スール	ポルトアレグレ	38.7	11月28日	1.2	8月1日
マツトグロソ	クイアバー	39.4	9月18日	4.3	7月30日
ゴヤ	ゴヤニヤ	37.4	10月12日	6.4	6月30日
エスピリトサント	ヴィクトリヤ	34.4	1月14日	16.3	8月2日
アラゴアス	マセイオ	31.3	11月4日	18.1	8月3日
セルジペ	アラカジュ	31.2	1月18日	18.4	7月22日
バイア	サルバドール	31.8	11月3日	19.1	7月24日
ミナスジェライス	ベロオリゾンテ	34.2	10月1日	11.2	5月22日
セアラ	フェルタレーザ	31.4	4月27日	19.2	9月23日
リオ・グランデ・ド・ノルテ	ナタール	30.5	3月1日	17.0	8月23日
パラíba	ジョンペソア	32.3	3月17日	19.2	8月20日
ペルナンブーコ	レレーフェ	30.4	1月17日	17.1	7月28日
パラナ	ベレン			19.5	1月29日
アマパ (SD)	マカバ	32.0		16.1	
マラニョン	サンルイス	34.7	1月6日	21.0	2月16日
ピアウイ	テレウノア			15.6	7月20日
ロンドニヤ	ポルトヴェリョ	37.7	10月13日	14.0	7月31日
アラカレ (SD)	リオ・グランデ	37.5	12月2日	12.7	8月8日
アマゾナス	マナオス	35.8	10月14日	18.5	7月31日
リオ・ブランコ (SD)	ボアビスタ	34.5	4月9日	21.0	8月1日

ブラジルに於ける
日本人の功績

- (1) 日本人がブラジルに移住を開始した20世紀の初めは、サンパウロ州のコーヒーが全盛期に入ろうとしており、しかも奴隷解放、欧州移民の減少等によって労力が極めて不足していた時代であったが、日本人はよくその要望にこたえ、ドイツ人



イタリー人の50%以下の低い定着率に比し95%もの高い定着率を示し、コーヒー生産に不可欠の役割を果たした。

- (2) 日本人が渡伯した当時はサンパウロ州の半分はまだうっ蒼たる原好林で蔽われていたが、コーヒー園の契約を終えた邦人は、その間に得た資金をもってこれら原始林の開拓に積極的に従事した。ソロエステ線、ソロガバナ線の奥地開拓は特に日本人の手で開拓されたと言っても過言ではない。そしてサンパウロ州を一大穀倉とし、特に綿花、コーヒー、養鶏、養蚕の中心地としての基礎を作った。現在はさらに北パラナ州の開拓に乗り出し、常に先駆者としての指導的役割を果たし且つ果しつつある。

- (3) サンパウロ市郊外は17世紀時代から開拓されていたが、長年

にわたる無肥料農業によって地力が減退して草原または荒地として放棄されていた。日本人はこれに着目して施肥集約農業を開始し、蔬菜栽培等に立派な成績を収め、ブラジル人をして「農業の手品師」として驚嘆せしめた。

(6) 新鮮な野菜を初め、従来ブラジルに存在しなかった温帯果実類を豊富にブラジル人の食卓にのせブラジル人の食品に改革をもたらした。例えば茶、ラミー、生糸、油桐その他の大規模な作物から柿、桃、梨、ビワ、草莓の果物類、または大根、筍、白菜等々いろいろの野菜類を市場にのぼせるようにした。

(5) アマゾン地域では従来ブラジルになかったジュートおよび胡椒が日本人の手によって生産されるようになり輸入を阻止したばかりでなく今日では輸出の段階に到達した。古来ブラジルからブラジルの特産物（例えばゴム）を国外にもち出した人は多いが、ブラジルに外国から持ち

南伯の日本人農業生産高	
南伯全生産高に対する比率	
ト—モロコシ	10%
コ—ヒー	15%
米	20%
綿 花	40%
バナナ	50%
馬 鈴 薯	60%
野 菜	70%
ト マ ト	90%
蕎 麦	90%
鶏 卵	90%
薄 荷	90%
ラ ミ ー	90%
茶	100%
生 糸	100%
桃	100%
柿	100%

注、サンパウロ州の人口が1千万人で日本人は40万人だから人口の比率から算せば4割に過ぎない。これと上記の比率とを比較してみれば日本人が如何に農業生産に貢献しているかが分るのである。

込んで来てくれたのは日本人だけだと賞讃されている。

(6) 農業の経営方法に於ても、コチア産業組合、南伯産業中央組合（元ジュケリー）その他3、4の農業協同組合の組織およびその活動はブラジル農業界に大きな貢献をした。

(7) 農業技術方面に於ては東山農場の表土喪失予防設備、コーヒーの新式栽培方法、コーヒー害虫駆除に天敵ウガンダ寄生蜂利用の考案ならびに実施、葎料植物の利用、肉用牛の育成、乳用牛の特殊飼育方法、各種植物採種施設、輪作方法の設定、加工部門の設置などが注目され、また野村農場の小麥栽培、コチア産業組合試験場の花卉栽培、各種鶏場の採卵施設は有名である。

国籍の取得（ブラジル帰化法）

国籍は共和国大統領によって許与され、その手続は司法相を經由しておこなわれる。ブラジル人となるには次ぎのことが必要である。

1. 5五カ年間に居住すること。
2. ポルトガル語を読み書きすることができること。
3. 申請者の生活を保証する職業または収入があること。
4. 素行善良なること。
5. 懲役一年以上の刑を以て処罰し得る罪に問われたことのないこと。

居住に関する条件は次ぎの事情ある場合には短縮することができる。

- ① 申請者がブラジル人たる父または母をもつ場合。
- ② 申請者がブラジル人たる妻または子女をもつ場合と、申請者が農業者であるか、特殊の技術をもつ場合（二年）
- ③ 申請者が職業上、芸術上または科学上の能力をもつ場合、またはブラジルのために顕著な貢献があるか、または貢献し得る場合（三年）

ポルトガル人はその習学知識の点で、居住期間について利点があるから、特別の法律の適用をうける。

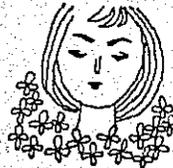
アルゼンチン



〔概説〕 南米大陸の東南部に位し、面積は日本の約8倍、地勢は中央部（乃至東部）西部、北部、南部の四地方に分けることができます。中央部はパンパと呼ばれる大平原で、北部のリオ・サラド河から南部のリオ・コロ

ラド河にいたる国の中心を占める地味肥沃な農業地帯で、小麦、トウモロコシのような穀類や亜麻仁は95%から100%、牛は4分の3、豚は6分の5、羊は2分の1がこの地域から産出されこの国の穀倉地帯と云われています。

西部はアンデス山脈の東斜面にあたる高原地帯であり、農業が中心でぶどうや、ぶどう酒の生産で有名です。



北部はコルドバ山脈を中心とし、綿作で有名なチャコ

主要農産物年産額		
鶏	蛋	80万吨
大	麦	100万吨
ラ	イ 苧	70万吨
米		17万吨
アルファルファ		620万吨
馬	鈴 薯	150万吨
甘		30万吨
マン	シ。カ	30万吨
ト	マ ト	30万吨
綿		40万吨
甘	蔗	1,000万吨
ブ	ド ウ	200万吨
マ	テ 茶	12万吨
ひ	ま わ	75万吨
煙	草	4万吨
林	産	30万吨
柑	橘	55万吨
梨		10万吨

平原を形成し、森林、沼沢の多い地方で、砂糖、綿花、米、マテ茶、ケブラチヨ材などが主産物であります。

南部は地勢起伏して湖水多く、牧羊の最適地として有名です。アマゾン河に次いで南米では2番目に大きいラ・プラタ河は源を遠くブラジルおよびボリビアに發し、パラナオ

よびウルグアイ両河の合流点より本流となって大西洋に注いでいます。この灌溉流域は150万平方哩に及ぶと言われています。また、南部にはリオ・ネグロ河およびリオ・コロラド河がありますが、いずれの河も源をアンデス山系より発しています。気候は地域によって異なりますがラ・プラタ河流域の首府ブエノス・アイレス地方では年平均温度は19度（最高25度～最低11度）年雨量は864mmであります。

アルゼンチンは約400年前スペイン人が植民して以来、急速な発展を遂げて来た国で、現在、人口は約1900万人、人口密度は僅か7人に過ぎません。住民は殆んどスペインおよびイタリー系白人であり、南米インディアンの血を引く土着人は3%弱に過ぎません

この国の経済をささえているものは小麦と牛肉と羊毛だといわれるくらいで、農業と牧畜が主要産業となっています。農業は前述のパンパと呼ばれる広大な平原で営まれ、ここで収穫される良質の小麦はカナダに次いで世界で第2位の輸出量を示しています。燕麦、大麦、ライ麦、

畜産統計	
牛	4,500万頭
細羊	50,000万頭
豚	400万頭

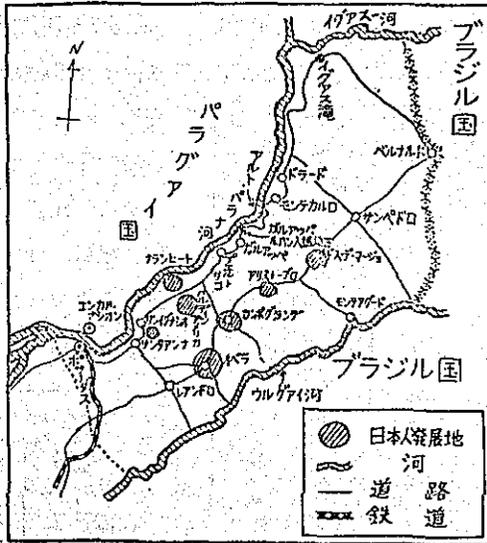
綿花、亜麻仁、甘蔗、紅茶、柑橘類のほか最近は米も若干収穫されるようになりました。

この国には現在、日系人が約1万1千人ほどいますが、その半数ぐらいは農業に従事しており、なかでも花作り等の温室栽培で成功している人がたくさんいます。最近パラグアイに近いミシオネス州で、油桐、マテ茶、紅茶、オレンジ等の栽培で成功している人もいます。

アルゼンチン政府は自国内の未開発の土地を開拓するために外国人の移住を歓迎していますが、その一環として日本人を今後5年間に4百家族入植させることになりました。そこで日本海外移住振興会社では日本人が現在4百人ほどいるミシオネス州のガルアッパというところ

アルゼンチン早わかり	
主要都市	ブエノス・アイレス(首都) 340万人 ロザリオ 49万人 コルドバ(コルドバ州首府) 37万人 ツクマン(ツクマン州首府) 20万人 サンタフェ(サンタフェ州首府) 17万人
国語	スペイン語
宗教	カトリック
独立日	7月9日(独立宣言記念日)
通貨	ペソ=12円
政体	立憲共和国 選挙権は18歳以上の男女に与えられる 最大統領はフロンティシ
輸出品	肉類、羊毛、皮革、穀類、陶磁製品、小麦粉
輸入品	食料品、化粧品・医薬品、木材、鉄加工品、機械、車輛、燃料、機械油

に約3,100町歩の土地を購入し日本人の移住を促進することになりました。この土地はいわゆるテーラ・ロッシャの肥沃土で気候にも恵まれた入植地であります。



(入植条件)

ガルアツベ移住地

1. 家族構成

1 夫婦と実子をもって構成され、満25才以下の子供5人までの世帯。

2. 携行資金 23万5千円以上

3. 分譲土地 1地区 30町歩

(イ) 一括払 521,300円

(ロ) 分割払 582,260円 前納金20万円は渡航前支払, 残金は現地で2年据置爾後3カ年均等年賦

品名	単位	価格
米	1 kg	4.8ペソ
パン	1 kg	2.5
メリケン粉	1 kg	1.8
牛肉(並)	1 kg	6.0
馬鈴薯	1 kg	3.4
リンゴ	1ダース	21.5
バナナ	1ダース	7.0
牛乳	1リットル	2.7
労働賃(男子)	1日	180.0
労働賃(女子)	1日	200-220
椰子(労働用)	1ケ	35.0
椰子(食用)	1ケ	50.0
ワイシャツ(中尺)	1枚	40-50
下シャツ	1枚	35
長靴(革製)	1足	250-300
長靴(ゴム製)	1足	97
毛布	1枚	150-200
タオル	1枚	27
銀(国産品)	1丁	30-55
銀(輸入品)	1丁	45-120
銅	1kg	80-150
鉛	1kg	65-80
ナス	1kg	11.0
ズッキーニ	1kg	11.0
葡萄酒	1リットル	8.4
ココラ	1kg	1.2
石油	1リットル	1.0
石油	1kg	185.0

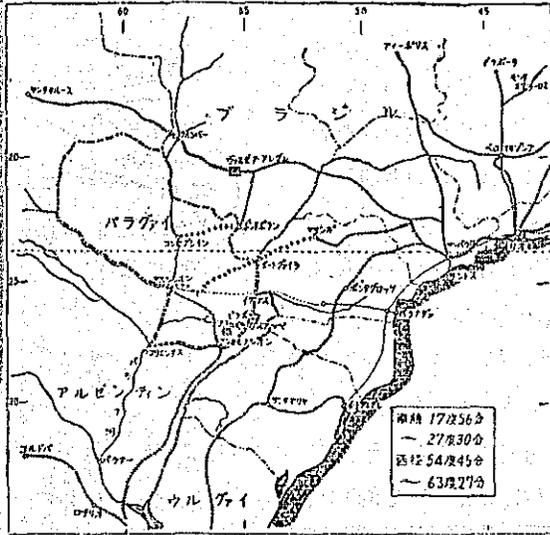
ペソ=12円

支払

4. 栽培作物 油桐
マテ茶, 紅茶, 柑橘類, 煙草, マンショ, カ, トウモロコシ, 米等

月	気温		雨量
	最高	最低	
1月	35C	26C	243
2月	34	13	81
3月	32	13	237
4月	30	0	264
5月	23	1(-)	129
6月	22	6	170
7月	22	2(-)	94
8月	27	2(-)	29
9月	30	4	90
10月	30	9	119
11月	32	14	39
12月	35	15	25
平均	35	2(-)	1,666

パラグアイ

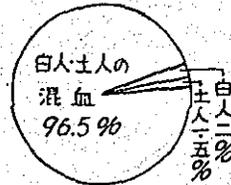


〔概説〕 南米でボリビアと共に海のない国の一つで面積は日本より少し大きく、気候は一般に亜熱帯性で温度も全国の年平均が22.5度、一番暑い1月の平均は27.5度、最寒期の7月の平均が16.5度ですから日本人には快適な気候だと云えます。

人口は150万人、人口密度3.5人という稀薄さ、従ってパラグアイ国政府は外国から優秀な移住者の来住を歓迎しているのです。

ここの住民は白人とグアラニー系の土人との混血が多く、全人口の96.5%を占めています。白人および純粋のグアラニー人は僅か3.5%に過ぎません。し

人種の割合



かし国語はスペイン語で宗教はカトリックが信仰されています。

パラグアイの地勢を見ますと東部は平原に富み、また森林におおわれた丘陵地帯もあって変化があります。

パラグアイ人
 ○…スペインからこの国に移住して来た人達と、この国に昔から住んでいたグアラニー人と過去500年間にわたって混血したものである。彼らは顔形、皮膚の色、骨格等が大変日本人に似ていて、一寸見ただけでは日本人だかパラグアイ人だか分らぬようなことが屢々ある。そこで彼らの日本人に対する感情は極めてよく親日的である。

西部はチャコ地方と呼ばれ荒地の処が多く北東部のブラジル国に接するアマンバイ山脈一帯は一般に高原で、平均高度は300メートル内外、テラ・ロッシヤの肥沃地帯

となっています。

パラグアイの主な産業は農業と牧畜で綿、牛肉、皮革、木材などを輸出し、見返りに消費物資を輸入し、これで国家経済をまかなっています。

鉄道は英国資本のパラグアイ中央鉄道が南北縦貫して首府アスンシオン市からこの国の中南部地帯を通り、隣

国のアルゼンチンの首府ブエノスアイレス市に連絡しています。幸いなことにパラグアイ河とパラナ河がこの国の中央部と東南部を流れ、アルゼンチンを徑て海に注いでいますから農産物の運搬等には主としてこの河を利用しています。この二つの河はアルゼンチンのコリエンテスで合し、ラ・プラタ本流となり

パラグアイ早わかり	
主要都市	アスンシオン(首都) 20万人 コンセプシオン 3万人 ピリヤリカ 3万人 エンカルナシオン 4万人
国語	スペイン語 土語ゲアラニー語も話される
宗教	カトリック
国祭日	5月14日(独立記念日)
通貨	ガラニー=3円
政体	立憲共和制 現大統領はアルフレド・ストロエスネル
輸出品	木材、ケブラチョ、エキス、棉花、皮革、肉、煙草
輸入品	食料品、棉製品、車輛、農業機械

大西洋に注いでいます。ラ・プラタ河は南米第二の大河でブエノスアイレス市からアスンシオン市まで 1,000 屯～1,500 屯の汽船が週 2, 3 回往復しています。なお、最近は南米各国間との国際飛行機の発着があり、ブラジルのサンパウロ市から 3 時間半でアスンシオンに、またアスンシオンから 4 時間半でブエノスアイレスに行くことができ、大変便利になりました。

この国への日本人の移住は昭和 11 年に首都アスンシオンの東南 130 杆のところにあるラ・コルメーナ移住地に 109 家族が入植し、すでに 20 周年記念を迎えたのですが、戦後はエンカルナシオン市の近くのチャベスに約 120 家族が入り、また、この近くのフラムというところに 1 万 5 千町歩の土地を日本海外移住振興会社が購入して専ら日本人移住者に分譲して入植を進めています。この移住地の特質は輝緑岩を母岩とする赤い植土で

パラグアイの主要産物	
農産物	マテ茶、桐油、微粒油、ヤシ油、綿花、タバコ、砂糖、豆類、トウモロコシ、マンジョカ、米、麦、オレンジ、バナナ、ブドウ、パイナップル、その他果実
林産物	ローロ・セードロ（家具材） インシェンソ・ラバチヨ（建築橋梁材） ケブラチヨ（タンニン材） クルパウ（枕木）
家畜	牛（1人当り3頭を保有） 馬、豚、羊、鶏

テラ・ロッシャと呼ばれる極めて優秀な土壌であることです。気候は生活および営農に極めて適しており、年雨量1.700ミリ程度、気温は夏で平均29度内外、冬で14度内外であります。

パラグアイ国フラム 1957年調		
	気 温	雨 量
1月	27℃	110m
2月	26	72
3月	25	164
4月	19	283
5月	15	208
6月	14	221
7月	15	298
8月	18	62
9月	20	67
10月	23	92
11月	25	33
12月	27	74

フラム移住地

(入植条件)

1. 家族構成 夫婦の年齢は満60才未満で、12才以上の働き手が3人以上ある世帯。
2. 携行資金 30万円以上
3. 分譲土地 1地区25町歩
 - (イ) 一括払 13万3千円
 - (ロ) 分割払 14万4千円
 前納金7万2千円は渡航前支払、残金は現地で2年

据置爾後3カ年均等年賦支払

4. 栽培作物 米, 小麦, 大豆, トウモロコシ, 馬鈴薯, 玉ねぎ, 大麦, 綿, 油桐, マテ茶, 柑橘類, ぶどう等

品名	単位	価格	品名	単位	価格
石	噸	400グラマー	石油	トンロ	1ケ 2,000グラマー
地		1,000	布(四)	庄	1米 32
米	k g	22	ズボン	生始	1羽分 40
牛	肉(普通)	k g 40	シャツ	1枚	50
食	油	1樽 600	ノ	1冊	8
砂	噸	k g 18	家具(小机)	1ツツ	2,600
煤	詰(精)	1コ 18	鉄	1箱	27
...	(肉)	1コ 24	煤	草	20本 65
釘	k g	60	生ビール	1リットル	28
アイロン(炭火用)	1ケ	400	ウイスキー(中)	1ビン	1,100
ヤスリ(中)	...	60	郵便(日本郵便)		48
フライパン	...	150	(普通郵便)		1.50

1グラマー = 3匁

ボリビア

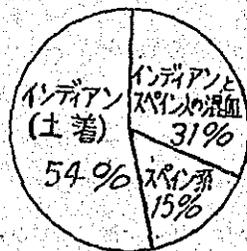


〔概説〕 ボリビアは南米大陸のほぼ中央にあって、パラグアイと同じように海の無い内陸国で、アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル、ペルー、チリーの5カ国にかこまれています。西部は南米の屋根と呼ばれるアンデス山脈の上であり、東部はアマゾン河の上流にあたり、

広大な平原地帯となっています。西部のアンデス山脈の高原地帯には6000mをこえる高山があり、首都ラ・パスは約3700m（富士山の頂上とほぼ同じ高さ）のところにあります。西部の気候は常に涼しく、夏と冬の気温の差はあまりありません。すず、銀などの鉱物資源に富み、人口の多くはこの地方に集まっています。一方、パラグアイ、ブラジルに接する東部地方はアマゾン河の上流にあたる地帯で、面積からいうとボリビア国の大部分をしめています。気候的には熱帯に属し、一般に温度の変化が少なく、一年を通じて雨の多い地方です。日本人の移住するサンファン植民地はこの東部平原地帯に



人種割合



ありますが、この地方では平均気温24度で6月から11月までが乾期、12月から5月までが雨期となっています。この国の面積は日本の約3倍あり、人口は約4百万人で人種の比率は

インディオ（土人）が全体の54%、インディオとスペイン人の混血が31%、スペイン系ヨーロッパ人が15%という構成を示しています。この国の主要産業は何と言っても鉱業で輸出総額の95%が鉱物で占められていて、特にすずの生産は世界第2位の産出額に達しています。従ってこの国の農業は従属的な役割を果たしているに過ぎません。それでも

総人口の3分の2は農民ですが、極めて原始的な農耕法を用いているため、既耕地は未だ総面積の2%にも達していない状態です。そこでボリビア政府ではブラジルで非常な功績を示した日本人の農業技術を高く評価して昭

ボリビア早わかり	
主要都市	ラ・パス（首都） 32万人 コチャバンバ（コチャバンバ県首府） 8万人 スクレ（国内唯一の都市英を誇る） 3万人 サンタ・クルス（サンタクルス県首府） 4万人 ポトシー（鉱山都市） 4万人 オルモロ（鉱山都市） 5万人
国語	スペイン語
宗教	カトリック
国名日	8月6日（独立祭）
通貨	ボリビアノボ4銭
政	立憲共和制 選挙権：満21歳以上の男子で読書能力のある者に限られる。 現大統領はビクトル・ハス・エステンソロ
輸出品	錫、銀、アンチモニー、銅、ゴム
輸入品	穀類、車輛、織物製品、化学製品、小麦、小麦粉

和31年に日ボ間に今後5年間に1千家族乃至6千人を移住させる協定が成立しました。この協定にもとずいてサンタクルス市から127軒離れたところにあるサンファンという入植地へ現在移住が行われているのです。

このサンファン入植地は標高400米で全域原始林でおおわれていますが殆んど傾斜のない平坦地です。気温は乾期で16～32度、雨期で20～30度です。

日本人移住者の主要作物は、米、トウモロコシ、ユカ

ウルク食料染料、大豆、それに家畜も飼育されています。

市場はサンタクルスが主ですがサンタクルス～サンファン間の道路が最近整備されたので生産物はトラックで搬出されています。

ボリビア国 サンタクルス州 1945年-1952年平均			
	気 温 (°C)		雨 量
	最高	最低	mm
1月	30.6C	20.2C	181
2月	30.5	20.4	113
3月	30.0	20.1	113
4月	29.0	17.2	42
5月	27.0	16.2	94
6月	24.0	14.6	69
7月	24.9	14.4	36
8月	26.4	15.3	26
9月	29.9	17.3	41
10月	30.2	18.3	92
11月	31.6	19.8	133
12月	31.6	20.0	135
平均 又は月	28.9	17.8	107.9

カンファン移住地

〔入植条件〕

1. 家族構成 1夫婦または1夫婦を基幹とする自然家族であって、満15才以上50才未満の稼働者2人以上を有する世帯
2. 携行資金 18万円以上
3. 土地 1世帯当り30町歩が無償譲渡される。
4. 栽培作物 米、トウモロコシ、ユカ、ウルク食料染料、大豆、その他一般蔬菜類と家畜の飼育

ボリビア国物価表 (1957年6月30日) 価格単位はボリビアペソ

品名	単位	価格	品名	単位	価格
白米	1アローバ	14,000	砂糖	100斤	900
小麦	1アローバ	14,000	ビール	1本	4,000
トウモロコシ	1アローバ	28,800	タバコ (Derly)	1箱10コ入	19,000
馬鈴薯	1アローバ	9,000	タバコ (Astory)	1箱	9,000
リンゴ	1コ	1,000	決つら帽子	1コ	800
パイナップル	1コ	1,000	ランニングシャツ	1枚	2,000
牛肉	1kg	3,500	ズボン (作業用)	1枚	18,500
卵	1コ	450	タオル	1本	7,000
バター	1ポンド	2,600	ガソリン	1リットル	500
コーヒー	1ポンド	3,600	石油	1ガロン	350
パン	1コ	800	ランプ (手灯)	1コ	16,000
小麦	100斤	400			

(注 1アローバは11.5kg)

各国別入植条件一覧

その他	察務課成	携行資金	土地		開別	
			用が許される	地		
その他 世帯構成で歳五〇歳以上歳五五歳未満の夫婦が養育者であること(但し、ブラジルの見直し)	一夫婦または一夫婦を養育として子供三人までの世帯	十五万円以上	二年後迄に各年三町歩計九町歩の無償使用が許される	初年度三町歩 二〇町歩	ドミニカ	
	内	十万円以上	約二万五千円(但し立替金)	二〇町歩	プエルトリコ	
	以上あること、但し三親等以内	二十五万円			開別	
	一夫婦と養育者として歳十二歳以上六〇歳未満の養育者三人以上を有すること	二〇万円	一時私 五十二万円	分割私 五十八万円	三〇町歩	ウルゼンテン (ガルブアイ)
	一夫婦を養育として歳十二歳以上六〇歳未満の養育者三人以上を有すること	二〇万円	一時私 十三万三千円	分割私 十四万四千円	二十五町歩 (一地区)	パラグアイ (ウラム)
一夫婦または一夫婦を養育とする自然家族で歳十五歳以上五〇歳未満の養育者二人以上を有すること	十八万円		無償譲渡	三〇町歩	ボリビア (サンフアン)	

アメリカ

北米への移住は大正13年の排日移民法以来途絶えておりましたが、戦後昭和27年に「マッカラン法」とい

う移民法ができて、日本から毎年185名が米国に移住することが出来るようになりました。そのうちの半数は米国市民の縁故関係者に限られていますが、残りの半数は高度の教養、技術的訓練、専門的経験、特殊技能などいずれか一つを修めている者であれば米国市民からの呼寄せによって米国に移住する恩恵に浴することが出来ます。これに該当する者は家族を同伴して行けるし、また後日呼寄せすることも出来ます。それから、この外に昭和28年に米国議会を通過した難民救済法によって日本人も1,006名が移住しましたが、この制度はすでに打ち切りとなりました。また、昭和31年からは日本農村の2、3男対策の一環として3年の契約で米国のカリフォルニア州の農園において働く22才以上35才未満の男子労務者の派遣が具体化されましたが詳細については農業労務者派米協議会（東京都港区芝西久保明舟町19の2、電話（50）9471番）におたずね下さい。

排日移民法

1924年（大正13年）に制定されたもので、1890年当時におけるアメリカ在住の国籍別人口数の2%をその国の年間移住者割当数とするもの。1890年頃には日本人はアメリカにはいなかったわけであるから日本への割当は零となった

海外実習生

海外実習生は国内青年の海外発展を奨励す

るとともに、受入国に永住し将来在外邦人社会の農、工商業界において中堅となる人材を養成し、その国の産業経済に寄与せしめることを目的とする。すでに昭和31年度より実施され毎年30名づつ募集されている。

種類

商業実習生 現地にある日本人または現地国人商社（貿易商、雑貨商等）に就働し、将来その商社の中堅職員となるか、または独立する。

農業実習生 現地にある日本人または現地国人農家、農場（花卉園芸、野菜栽培、果樹栽培等）に就働、将来独立する。

工業実習生 現地にある日本人または現地国人工場で技術を修得せしめた上、技術者として就働、将来独立する。

応募資格

- (1) 新制農業高校、園芸高校、工業高校、商業高校卒業（卒業見込を含む）あるいは旧制中学実業学校卒業以上の資格あるもの

(2) 年齢 満18才～満25才

試験

書類選考，面接，筆記試験（語学，作文）身体検査

ブラジル国東山農場研修生

サンパウロ市から百軒離れたカンピーナス郊外にある東山農場（総支配人山本喜蕃司博士）において1年3ヶ月間ブラジルに関する基礎科学，種芸，牧畜，林業，ポルトガル語の実習を行い，研修終了後は同農場乃至他の信用ある農場，農事試験場その他の機関に相当長期にわたり就業しうようあつ旋される。この制度は昭和32年度より開始され毎年約50名が募集される。

応募資格

(1) 新制農業高校卒またはそれと同等以上の学力を有する男子

(2) 年齢 満18才～満25才

試験

書類選考，面接，筆記試験，身体検査，

海外へ移住するには



移住したい人はまずこの本の入植条件のところをよく読んで応募資格があるかどうかを確かめてみて下さい。そして何か疑問のある場合と

か、もっと詳細なことを知りたいという場合には各府県にある海外協会（別表参照）に問合せてみることです。そしていよいよ移住を決意したならば、その海外協会に申込みばよいのです。申込み場合には次の書類が必要です。

- (1) 移住申込書 1通
- (2) 戸籍謄本 1通
- (3) 家族調書 1通
- (4) 健康診断書 1通
- (5) 渡航者調書 単独旅券の必要な者全員各1通
- (6) 農業従事証明書 20才以上の男子につき各1通
- (7) 犯罪のないことを示す誓約書 18才以上につき各1通
- (8) 写真 1葉（全家族で写したもので可）

地方の海外協会ではこれらの書類を審査し、また直接面接等を行なって選考します。そして適格者と判定したものを中央の日本海外協会連合会に推薦します。ここまですが第一次選考です。さて連合会は地方から推薦されたものについて、さらに外務省、農林省等とも協議して主として書類選考により審査を行います。これが第二次選考です。これでいよいよ合格、不合格が最終的に決定されるわけです。

合格者に対しては合格通知および移住あっせん所入所期日、乗船名等が地方海外協会を通じて電報または速達で通知されます。合格通知を受けた者はかねて準備しておいた次の書類を取揃えて直ちに各居住地の都道府県旅券担当課に対し旅券下附申請の手続をすると共に査証関

旅 券

およそ海外へ渡航する場合まず必要なものは旅券であり、これがなければ出国することが出来ないし、また目的国へ入国することも出来ない。旅券は国外に渡航する者が日本国民であることを証明すると同時に、渡航先国の官憲に対して渡航者に便宜が与えられるよう要請する公文書である。従って旅券をもっていなければ、まず入国査証（渡航しようとする国の在日使節よりその国への入国、滞在、または通過することをその国の本国政府に推薦する裏書き）が得られず渡航中においてもその地の官憲の保護を受けられないのが国際慣習となっている。だから渡航者は旅券をいわば自分の身体の一部ぐらいに考えてよいものである。

係書類を提出します。

旅券下附申請の場合の書類

- (1) 旅券下附申請書
- (2) 身元申告書
- (4) 戸籍謄本
- (4) 写真
- (5) 合格通知書
- (6) 健康診断書
- (7) 旅券下付料 1通

につき 500 円

査証用書類 移住先によって異なりますが、大抵次のような書類が必要です。

- (1) 無犯罪証明書 18才以上の者
- (2) 健康証明書
- (3) 種痘証明書
- (4) 農業従事証明 20才以上の男子
- (5) 写真

波 航 の 費 用

渡航費は政府から業務の委託を受けて、日本海外協会連合会が直接貸付を行っております。金額は行先によって異っておりますが、12歳以上の大人1人について次のようになっています。

なお12歳未満はその半額、3歳未満は4分の1、1歳未満は等となっています。

トルヒーラ (ドミニカ) 97,000円

ベレン (アマゾン) 100,000円

サントス (南 伯) 102,000円

ブエノスアイレス (アルゼンチン) 105,000円

パラグアイ行の移住者はブエノスアイレスに上陸し、阿船で現場に行きますので、その費用も

貸付けられます。阿船の費用は、12歳以上――

2,370 円、12歳未満――1,185 円です。貸付金

は年利5分5厘4年借費8カ年平均毎年賦償還で

返すことになっております。

さて、これらの手続の終わった者は入所までの期間を有効に利用し、地方海外協会とも相談の上、財産の整理、携行資金の準備、携行荷物の整備、その他移住に必要な準備をすすめて行きます。

そして、横浜あるいは神戸の移住あっせん所に入所する前の1週間から10日間、移住者に必要な講習訓練を合宿して受けます。これを終ってよいよあっせん所に入るわけです。この入所期間はやはり1週間から10日間で、この間に上陸港の検疫に備えるため、コレラ、腸チブス、パラチブス等混合ワクチンの予防注射や種痘をしたり、旅券の査証を受けたり、移住者契約、渡航費貸付契約を締結したり、携行荷物の税関検査を受けたりします。

以上のような行事を無事終了した後、移住あっせん所長の指定する日時に全員退所し、出入国管理庁係官の出国検査を受けた上で乗船し出帆することとなるのです。

神戸移住あっせん所
神戸市生田区山本通3丁目121 電話 組合(2)0341~2
横浜移住あっせん所
横浜市中区木町3丁目31 電話 横浜本局(2)1883~5

資金の貸付

渡航費以外の資金の貸付については現在次の様に行われています。

(1) 日本海外移住振興会社よりの貸付

A. 開拓移住者に対する渡航前の貸付

(1) 貸付対象 開拓移住者としての選考に合格し、原則として同一町村出身の5家族以上の団体。

(2) 貸付金額 総額50,000千円、1家族につき500千円を限度とする。

(3) 貸付金の使途 営農に必要な共同利用農機具および交通運搬機関等を購入する資金であること。

(4) 貸付の条件 円建貸付で各家族連帯債務の形式をとること及び出身地市町村の連帯保証をとり入れること。

(5) 償還方法 2年据置き、以後3年元利均等年賦払いとする。

B. 開拓移住者に対する現地貸付

- (1) 貸付対象 原則として既入植者の組合。
- (2) 貸付金額 総額50,000千円, 1戸当り 200千円を限度とする。
- (3) 貸付金の使途 渡航前貸付に同じ。
- (4) 貸付の条件 原則として所要資金の80%を融資し, 残額は自己負担とするものとし, 担保として購入物件及びその他物的担保を徵求する外組合員全員の連帯保証をとり入れる。
- (5) 償還方法 3~6年元本均等半年賦払いとする。

(2) 自作農維持創設資金融通法の利用

移住者がその財産を整理する際, 特にその所有する農地の売却にあたって買手側に資金を貸付けて移住者の財産整理を側面より援助し携行資金の調達を便ならしめようとするものである。

- (1) 借入先 農林漁業金融公庫
- (2) 貸付金額 取得する農地の価格までとするが, その金額が20万円を超える場合は買受人1人につき20万円を以て限度とする。従って例えば移住者の売却農地を3名で分割買入れ

る場合には買
受人各20万円
で計60万円の
貸付が出来る
わけである。

(3) 貸付条件
年利5分5厘
20カ年並等年
賦償還

南米航路の船			
大 阪 商 船	船名	総噸数	移住者
			担当船席
大 阪 商 船	あめりか丸	8,343	450
	あふりか丸	8,354	450
	さんとす丸	8,516	500
	ぶらじる丸	10,100	850
シ ン ク ロ ウ ・ ラ イ オ ル ・ ス シ ヤ ン	チサグネ号	9,281	270
	チチャレンカ号	10,872	270
	ボイスベン号	14,271	180
	テサルベルグ号	14,281	180
	ルイス号	14,285	160

中南米諸国への移住者数 (船後、移住者貸付移住者に限る)

	27年	28年	29年	30年	31年	32年	合計
ドミニカ	—	—	—	—	565	299	864
ブラジル	84	1,480	3,524	2,659	4,357	5,172	17,246
アルゼンチン	—	—	2	117	23	57	169
パラグアイ	—	18	208	647	1,074	1,507	3,454
ボリビア	—	—	7	87	3	377	474
パネズエラ	—	—	—	3	6	23	32
コロンビア	—	—	—	—	2	3	5
メキシコ	—	—	—	1	4	1	6
チリ	—	—	—	—	3	—	3
計	84	1,498	3,741	3,514	6,037	7,433	22,283

豆 辞 典

計画移住 日本政府または在外機関と相手国政府の間で、入植条件、受入移住者の数などが取決められ、包括的に移住者の入国許可が与えられる形の移住である。

現在ブラジルのアマゾン流域、パラグアイ、ボリビア、アルゼンチン、ドミニカ等への移住はこの形態



をとっている。と同時にそれらは開拓移住でもある。何故ならば自営独立して未開発の土地を開拓して行くものだからである。

呼寄移住 計画移住と対照的なものに呼寄移住がある。これは相手国政府から包括的な入国許可を受けるのではなく、現地の特定の個人または団体が必要に応じて日本の個人または家族と雇用契約を結んで呼寄せるものである。

ブラジル南部のコーヒー園等へ雇用されて行くのはこの呼寄移住の形態に属する。

集団移住 一名を町ぐるみ移住とか村ぐるみ移住とかいわれるもので、貧農に苦しむ町なり村なりが南米に土地を求めてそこへ自分の町や村の人達を集団的に移住させようというもの。

現在までにこの形態ではパラグアイのフラム植民地に集団移住した広島県の沼隈町、高知県の大正町などがある。

携行資金の枠 携行資金は一家族あたり1,000ドル(36万円)まで現地へ携行できる。この携行資金は移住者が郷里を出発する前に東京銀行本店の日本海外協会連合会普通預金口座に振込送金しておけば、移住者が現地到着後その国の貨幣で受取れるよう送金手続がなされる。

なお、携行資金の送金中の利子については送金手数料と相殺されることになっている。

船中雑費 あっせん所入所中に船中および着後の雑費として邦貨を米ドルに交換する手続が行われる。

その交換の限度は日本船の場合とオランダ船の場合とで異なる。

日本船の場合



18才以上 50ドルまで (18,040円)

18才未満 25ドルまで (9,020円)

オランダ船の場合

18才以上 70ドルまで (25,256円)

18才未満 35ドルまで (12,628円)

日本船とオランダ船とで交換外貨の額に相異があるのは、オランダ船の場合には船中で日本金を使用することができないが、日本船の場合には船内売店で日本金を使用することができるからである。

寄港地名 東廻り……ロス・アンゼルス～クリストバル～トルヒリョ～ラ・ガイラ～ベレーン～レシーフェ～リオ・デ・ジャネイロ～サントス～モンテ・ビデオ～ベノス・アイレス

西廻り……香港～シンガポール～マウリシャス～ロレンソ・マルケス～ポート・エリザベス～ケープタウン～リオ・デ・ジャネイロ～サントス～ベノス・アイレス

アマゾン経済開発法 昭和28年1月6日大統領署名、翌7日公布されたブラジルのアマゾン開発促進のための法律。これにより翌28年8月にはベレーン市に本庁を有するアマゾニア経済開発庁が設置された。この法律にはア

マゾン地域開発のための資金として、国費およびアマゾン地域各州各郡の歳入の3%を年々プールすることが規定されている。

3分の2法　ブラジル人の生活を保護するための法律で、会社や工場などにおいて使用人が3人以上ある場合、少くともその3分の2はブラジル人、または10カ年以上ブラジルに居住し、ブラジル人たる妻または子を有する外国人たることを要するというのがこの法律の要旨である。そこで例えば日本の企業が進出する場合にも日本人移住者だけで小ジンマリと工場を持つことは不可能ということになる。

なお、同種の仕事に対しては外国人とブラジル人との間において賃金の差をつけることが出来ないように法律に規定されていることも忘れてはならない。

伯国移民法第50条　植民地中最低30%のロッテ（土地の区画）は伯国人植民者に譲渡または売却せられるべきものとす。残余は他の国籍の各々に最大限25%迄は公正に分配せらるるものとす……というもので植民地の一国民による専有を排除している。従って、例えば日本人がブラジルに土地を買って植民地を建設しようとしても、

全面積を日本人だけで専有することはできないわけである。

マテ茶 南米の南東部に位する各国におけるマテ茶の地位は、コーヒーのアメリカ合衆国における地位および紅茶の英国における地位と同じであって最も一般的な飲物である。



マテ茶の中にはマティンとして知られているアルカロイドがあって、これがコーヒーのカフェイン、茶のテインに匹敵し、適当な刺激を与える。

マテ茶は他のものに比較して遙かに葉緑素が多く、また他のものよりも固有の油やタンニン物質や、カフェインの如き刺激性のアルカロイドが少いことは、このマテ茶が飲物として普通の茶やコーヒーよりすぐれたものであると言われている。マテ茶の木の原産地はアルゼンチン、ブラジル、パラグアイの三国が接している森林地帯である。

マテ茶の回し呑み パラグアイの面白い習慣の一つこれはこの国の特産であるマテ茶を小さいフクベに入れて熱湯を注ぎ、これに細長い金属製の管を差込んで飲む

のだが、客人があるとその家の主人や主婦が必ずこれを持出して接待する。尤もこれだけのことなら大して面白味もないが、この一杯のマテ茶を次々に回して飲むのが礼儀で、隣りの人の飲んだマテ茶を汚いなどと思って飲まないのはエチケットに反するということにこの習慣のミソがある。日本の盃のやりとりにも相似たならわしである。

山焼き ブラジル、パラグアイ、ボリビア等の南米諸国においては開拓前線は常に原始林である。そこで開拓者はまず原始林を征服しなければならない。それには木を伐り倒して一カ月間ぐらい乾燥し、木がよく乾いたところで火をつけて焼き払う。この作業を“山焼き”という。こうして焼き払ったあとに農産物を植えていくのであるが、肥料は殆んどほどこさず地力にのみ頼って栽培し、地力がなくなればそこを捨てて他の土地へ移って行くという全くの掠奪農法が今でも行われている。



間作 コーヒー樹は大体4mの間隔をへだてて植えられているので、コーヒー樹が幼樹の時には樹間に陸稻、トウモロコシ、フェジヨン豆等の農産物を植える場合がある。これを間作というのであるが、間作によって収穫される農産物はコーヒー園に働いている雇用労働者（コーヒーコロノ）の収入となる。但し、間作の是非、栽培作物の決定については雇用主と協議しなければならない。

コーヒー仕立請負 コーヒーコロノから独立農へ移る中間形態の一つ、請負期間には4年契約と6年契約とがある。4年契約の場合は普通農場主が原始林を伐採してコーヒーを植えつけ、住宅を建てて契約者に請負わす。請負人はコーヒーの育成を管理しながら樹間に間作等をなし、4年後に成木したコーヒー樹を園主に返すのである。仕事は大株コロノと同じで主な仕事はコーヒー園の除草であるが契約の主要点は次の如くである。

- (1) 4年後に1m以上に成長したコーヒー樹に対して園主は育成費を支払う。
- (2) 欠株の補植は請負者がする。
- (3) 4年目のコーヒー実の収穫は請負人の所得にな

る。

(4) 間作は請負人の所得になる。

(5) 余作地はコーヒー1万本につき1アルケール(約2町5反)が与えられる。

従って4年契約の場合の収入はコーヒーの育成費、コーヒー実の収穫、間作、余作地の収穫等で、この契約期間の終る頃には原始林を購入して独立農になる資金ができるのである。

なお、6年契約の場合は原始林のまま契約人に渡し、契約人は自己の資金で伐採、整地、植付をなし、6年間これを育成するのである。4年目から6年目までの3年間のコーヒー実の収穫は請負人の所得になる。園主は育成費を支払わない。もちろん間作および余作地は4年契約と同じである。従って6年契約は多くの資金を要するのであるが、その収入も最後の3年間のコーヒー実の収穫によって退園時の所得金は非常に多くなるのである。

企業進出

中南米への日本企業の進出は漸次さかんになってきているが、その主なもの(現在進行中のものを含む)をあげれば次の如くである。

(ブラジル) パイロット万年筆、東洋紡績、鐘淵紡績

海外機械興発、西沢ミ

シン、豊和工業、横浜

紙器、大洋漁業、ヤンマーディーゼル、久保田鉄工、倉敷紡績、佐渡島金属、新潟鉄工、石川島重工、日本冷蔵
上ミタ自動車、日産自動車、ミナス製鉄所、東洋綿花、
日本スピンドル、三菱商事、兼松、バシフイック・コン
サルタント。

(アルゼンチン) 大洋漁業、日本毛織、日本水産、日
東水産、北光漁業

(メキシコ) 豊田自動機械、三ツ星調帯、同和鋳業、
第一物産

(チリー) 大洋漁業、日本鋳業、三菱鋳業

(エルサルバドル) 呉羽紡績

(ドミニカ) 富士紡績

分益農 コロノ期間を終えた移住者が独立するまでの
中間形態としては、コーヒー仕立請負契約のほかには分
益農がある。これは主にリオやサンパロウ市近郊の蔬菜
業者等の間で行われている制度である。契約の概要は地
主は土地、住宅、その他の施設を提供する。営農に必要な
農具、肥料、種子、農薬品なども地主が出資する。

契約者はこれらの施設や資金を用いて自分の技術と労力で栽培する。収穫物は地主と合議の上で売却して、地主の投下した資金を差引いたあとの純益を折半するのである。

この分益法は契約者は資金がなくてもやれる非常に歩のよい仕事ではあるが、新移住者ではブラジルの営農方法や社会生活になれていないので無理である。やはり何年かのコロノ生活をやり、現地の事情に一応通じてはじめてできうるのである。

ブラジルの学制

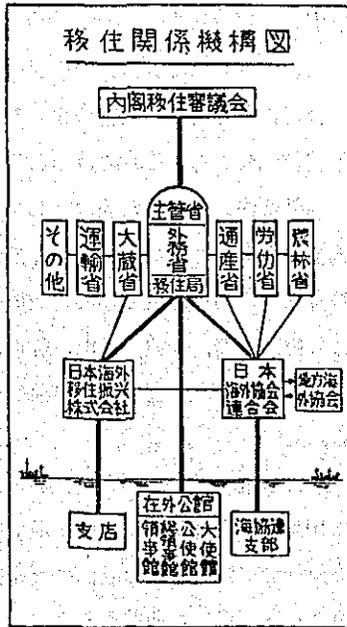
小学校は義務教育で7才で入学する。四年制。

中学校は同じく4年制、高等学校は3年制、

そして大学は科によって3年乃至6年制となっている。その他多くの実業学校もあり、医、法、工科などは欧米のそれにくらべても遜色ないものとされている。なお、外国語の教育は14才未満の者には禁止されている。従って例えば日本語の教育などは家庭において行わねばならない。

移住関係機構 海外移住に関する政府の主務官庁は外務省であって、その事務は移住局で取扱っている。そして、他の省もまた移住行政を完全に遂行するため、それぞれ業務の一部を担当し外務省に協力している。すなわち農業移住者の募集、選考、訓練については農林省振興局、雇用労務者の移住については労働省職業安定局、技術者や企業の移住、進出については通産省、移住船の建造については運輸省がそれぞれ担当し、その他厚生省、文部省、大蔵省、自治庁等が関係省庁としてそれぞれ所管事務について外務省に協力している。

なお、神戸、横浜両港には移住あ



っせん所が設けられ、渡航前の移住者の宿泊、国際教養の授講、査証、通関等のあっせん、諸手続の世話等を行っている。

このほか、政府の諮問機関として内閣に海外移住審議会が設けられ、海外移住政策に関する重要事項を審議している。会長は内閣総理大臣、委員は国務大臣、学識経験者から選ばれる。

また外務省には外務大臣の諮問機関として海外移住懇談会が、関係各省担当官の事務連絡機関として海外移住連絡協議会がそれぞれ設けられている。

海外移住の民間実務機関としては、財団法人日本海外協会連合会があり、全国各都道府県に所在する地方海外協会をその組織団体として、政府より委託されて移住者の募集、選考、訓練、送出、輸送、啓蒙、宣伝、現地定着のあっせん、調査研究、渡航費の貸付等を行っている。

次に日本海外移住振興株式会社がある。同社は昭和30年10月、同会社法に基づいて設立された移住に関する国策会社で移住者やその団体の資金需要に応じ、金融的側面より移住促進を援助する会社である。また移住者のた

めの土地分譲、関連諸事業への投資、あるいはその事業の直営をも行いうることになっており、すでにパラグアイ国のフラム、ピラボ植民地、アルゼンチン国のガルアップ植民地に土地を購入し、日本移住者に分譲している。

度量衡対照表
(ラテンアメリカに於ては常使用されている植民地時代の旧度量衡)

ポルトガル語		スペイン語	
単位	概 要	単位	概 要
ポレガダ Polegada	9分1厘	プルガダ Pulgada	9分1厘
ポレガダ Polegada	ポレガダ=7寸2分6厘	パルモ Palmo	7寸2分6厘
ポレガダ Polegada	12ポレガダ=1尺8分	ペ Pe	1尺9分
コバド Covado	3パルモ=2尺1寸8分	バラ Vara	6.866米
バラ Vara	5パルモ=3尺6寸3分	ヤルダ Jarda	2尺9寸7分
ブラサ Braça	10パルモ=7尺2寸5分	クアドラ Cuadra	100バラ=86.6米
ミリア Milha	2200米=20町10間	レガ Legua	4300米
レグア Legua	6600米		
ア Are	100平方米=1畝0歩2分	マンサーナ Manzana	1.66エーカー
ヘクタール Hectare	100アール=1町25歩	ファンガダ Fanegada	88.1エーカー
アルケイレ Alqueire	サンパウロ州2町4段4畝 ミナス州4町8段8畝 北米州2町7段4畝		
クアルチーロ Cuartilho	0.51リットル	クアルチーロ Cuartilho	0.51リットル 酒20.46リットル
フラスコ Frasco	2リットル	アロバ Arroba	25.35リットル
ミド Mido	1車=トウモロコシ60斗	ファンガス Fanegas	55.59リットル
カ Carro	馬車1台=20マン	カ Carga	2ファンガス
サ Saco	1袋=60キロ	アルムド Almudo	5.28ガロン
ア Arrova	32ポンド=4口	クインタル Quintal	1014リットル
クインタル Quintal	4アローバ=16口	リブ Libra	0.5キロ
		ア Arrova	12.5キロ
		ク Quintal	46キロ

移住ハンドブック

昭和33年5月発行 予 100

編集 財団法人 日本海外協会連合会
 広報部編集課

印刷人 崎 山 盛 繁

発行所 東京都港区芝新橋1の18
財団法人 日本海外協会連合会
 電話 69-1374—代表

地方海外協会一覽

北海道	海外協	道庁開拓經營課内
青森県	海外協	県庁開拓課内
岩手県	海外協	県庁開拓課内
宮城県	海外協	県庁農地開拓課内
秋田県	海外協	県庁農地開拓課内
山形県	海外協	県庁農地開拓課内
福島県	海外移住協	県庁農林課内
茨城県	海外協	県庁総務課内
栃木県	海外協	県庁広報課内
群馬県	海外協	県庁外務課内
埼玉県	海外協	県庁報道文化課内
千葉県	海外協	県庁農地開拓課内
東京都	海外協	都庁渡航移住課内
神奈川県	海外協	県庁渉外課内
新潟県	海外協	県庁秘書課内
富山県	海外農移協	県庁農地開拓課内
石川県	海外協	県庁農地開拓課内
福井県	海外協	県庁農地開拓課内
山梨県	海外協	県庁広報課内
信濃県	海外協	県庁開拓課内
岐阜県	海外移住協	県庁外務課内
静岡県	海外移住協	県庁総務課内
愛知県	海外移住協	県庁農地開拓課内
三重県	海外協	県庁農地開拓課内
滋賀県	海外協	県庁農政課内
京都府	海外協	府庁農地開拓課内
大阪府	海外協	府庁農地開拓課内
兵庫県	海外協	県庁外務課内
和歌山県	海外協	県庁移住課内
奈良県	海外協	県庁管理課内
鳥取県	海外協	県庁農地開拓課内

島根県	海外協	県庁広報文書課内
岡山県	海外協	県庁文書学事課内
広島県	海外協	県庁外事課内
山口県	海外協	県庁社会課内
徳島県	海外協	県庁県民課内
香川県	海外移住協	県庁農地拓植課内
愛媛県	海外協	県庁農地拓植課内
高知県	海外協	県庁農地開拓課内
福岡県	海外協	県庁渉外移住課内
佐賀県	海外協	県庁農地開拓課内
長崎県	海外移住協	県庁農地開拓課内
熊本県	海外協	熊本市長安寺町22
大分県	海外協	県庁農地開拓課内
宮崎県	海外協	県庁農地開拓課内
鹿児島県	海外協	県庁農地開拓課内
琉球	海外協	沖縄郡那覇市美栄橋町工業 商事ビル

海協連支部

サンフランシスコ支部 支部長 高橋 甚
 Hajime Takahashi,
 c/o Consulate-General of Japan,
 246 California Street,
 San Francisco 4, California,
 U. S. A.

ドミニカ支部 支部長 横田 一太郎
 Ichitaro Yokota,
 Representante en R. D.
 de la Federación de Asociaciones
 Pro-Emigración Japonesa,
 Apartado No. 1163, Ciudad Trujillo,
 REPUBLICA DOMINICANA

アマゾン支部 支部長 古田 純三
 Junzo Furuta,
 Av. Castilho França 140,
 C. P. 421,
 Belém, Pará,
 BRASIL

リオ・デ・ジャネイロ駐在員事務所 主任 大谷 晃
 Akira Otani,
 a/c Embaixada do Japão,
 Rua das Laranjeiras 192,
 Rio de Janeiro,
 BRASIL

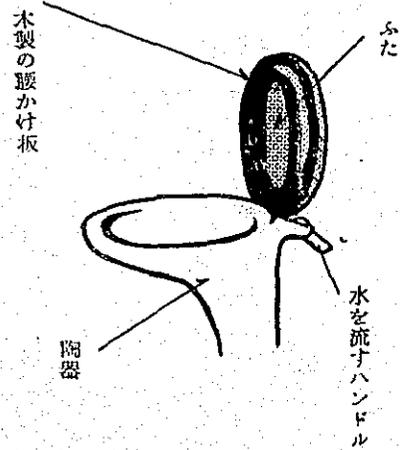
サンパウロ支部 支部長 大沢 大作
 Daisaku Osawa,
 a/c Consulado Geral do Japão,
 Praça Dom José Gaspar 30, 9º and.,
 São Paulo,
 BRASIL

パラグアイ支部 支部長 長尾 武雄
 Takeo Nagao,
 a/c Legación del Japón,
 Av. Mariscal Lopez 791,
 Asunción
 PARAGUAY

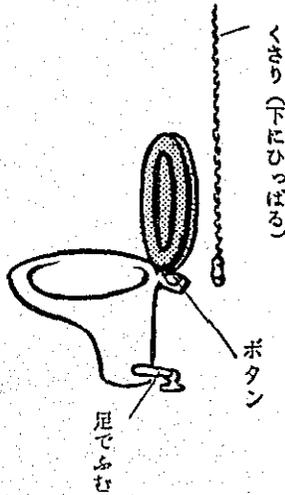
ボリビア支部 支部長 落合 柳一
 Ryuichi Ochiai,
 a/c Legación del Japón,
 Edificio "Casa Bernardo" Avenida Camacho,
 Esquina Calle Colón, La Paz,
 BOLIVIA

西洋便所

一、構造



水を流す所は、
場合により左のようなところ
に設けられていることがある

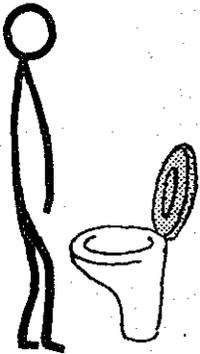
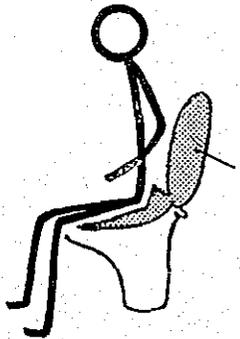


二、使用の方法

- イ、男子小用の際
男子小用のための専用便器がなく、この便器を用いる場合は、必ず木製腰かけ板をあげ、便器に対し正対して用を足す。
- ロ、右以外るとき
腰かけ板を下し、小用の際と反対方向を向き、腰かけ板の上に腰を下して用を足す。
ふた(ない場合もある)

三、注意

1. 腰かけ板の上に土足で上らないこと。
2. 用後は必ず水を流すこと。
3. 腰かけ板を汚さないこと。
万一汚したときは紙できれいに拭い後の人に不快な感じを与えないこと。
4. ちり紙以外のものを便器の中に絶対投入しないこと。
(西洋便所は水だけを流すようにできているから、異物を投入すると管がつまり、これの復旧のためには大なる失費を要する。)
5. 使用後はふたをする。





移住者の家

移住ハンドブック

第 編

同書本式印刷

編

同書本式印刷

国際協力事業団

受入
月日

登録No.

序

移住者の皆さんのお世話をしている私共としては、常日頃、いろいろな時にいろいろな所でいろいろなことを見たり聞いたり考えたりする。第二篇にまとめたいくつかの話はこれらの中から特に移住される方々には是非読んで頂きたいと思つたものである。これらの話が移住を決意される方々、あるいはすでに決意なさつた方々のためにいさゝかでも参考となればこれにこしたる幸いはない。

目次

肩々相摩し	1
明治的精神	3
海のあなたの空遠く	5
後塵	6
断じて行えば	7
移住すべからず	9
閑日有楽	11

斜陽宣伝族	13
語学急速上達法	15
タタミのタタリ	17
馬力	19
顔のしわ	21
偉大なる人物	22
種芋となること勿れ	23
雑学と小器用	25

女神ならではの夜もあけず……………27

下士官根性……………29

少数民族……………31

西部へ……………33

資本があると損をする話……………35

汝の叢を離れるな……………37

免に角そこへ行くこと……………39

ドゥカ……………41

男性のシンボル	43
チップ秘伝	46
しつけ	49
コトバ	50
サイエン	51
郵便	52
エチケット原論	53
エチケット各論	55

自 画 自 讀

58

も う ケ ッ コ ウ

58

ニ ヤ ニ ヤ

59

南 米 買 物 心 得 帳

61

山 田 長 政 の 子 孫

64

地 球 の 大 原 則

65

肩々相摩し



アマゾンの上を飛行機でとぶと五時間も六時間も、ただ見渡す限り森の連続で、遠く彼方の森林線？は雲の間に消えている。家もなければ畑もない。たまにはあるかもしれないが飛行機からみえるほどにまっただけはない。まして町などはまったく見えない。アマゾンまで行かなくても、北米や南米の田舎のハイウェイ（自動車道路）を真昼間走っていて、数時間も猫の子一匹に会わないこともめずらしくない。

こういうときは人間か、せめて犬にでも会わないかと思う。そして他の自動車とすれ違うと、すこし大げさないい方をすれば他の人々も生きていたかとホツとした気持ちになる。

ところが日本に来るとまったくこの反対である。人、人、人、人、それに騒音に雑音に輓音、どこへ行っても人ばかりで文字通り「肩々相摩し」「軒々相つらね」「寸

土を争って「生きている。

これでは、人を突き飛ばしたくもなるだろうし、押しつけたくもなるだろう。日本人がコセコセするのも、ずる賢いといわれるのも無理はあるまい。明治の人間は氣宇壮大で悠々としていた」などとよく老人は近頃の人々を批判するが、同じ広さに三千万人住んでいたときと九千万人住んでいるのでは比較にならない。終戦直後、住宅不足で同居はやりの頃、人々がいかに神経をいらだたせたかを思いおこすべきである。現在でも北米や南米の日本人は一里四方、人のいないところで、明治の人々より遙かに氣宇壮大に悠々と住んでいる。日本人は環境をかえて再び大いに元氣をとりもどすべきであろう。いたずらに眼り薬や精神安定剤に頼るよりも南米の大地で力一杯働いた方が余程ノイローゼにはよいというものだ。

国別人口密度比較表
(一平方キロ当り)

国	別	人口密度
日本	本	245
ブラジル	ル	6.7
ポランド	ア	3.5
ドイツ	イ	2.7
	ア	46.0
	カ	7.6
北米	米	20.7
イギリス	ア	158.3
オーストラリア	ダ	327.4
インド	ス	209.3
西	ン	57.2
	ツ	201.8
全南	平	18.8
世界	均	6.7

(註) ちなみに東に京都の人口密度をあげると、昭和32年6月1日現在、4145人に達している。

明治的精神



明治時代に南米に渡ったある人と話したときのことである。彼は日本には失業者が多いということを知り、言下に、「日本人は戦後忘ける者になった」と批評した。そこで私は「いや、忘れる者ではなく働きたくても働く場所がないのだ」と説明したが彼は「働きたくても働かないというこ

とはない。それは贅沢をいって仕事を選ぶからだ。大体貧乏な人間は忘れる者だ」といって頭として「戦後日本人忘れる者説」を変えようと思わない。なけなしの経済学的知識を動員した私の一時間に及ぶ説明も彼を説得させることはできなかった。

十代にブラジルに渡り、奮闘努力して成功したこの人物は、働きたくても働く場所のない国を想像できなかったであろう。

裏面に働いた人間はみな産をなしている所に生活している彼は「貧乏な人間は忘れる者だ」と確信を以ていいえたのだろう。

私が延々と彼の見解の誤りを反駁すると、彼は私を意け者弁護者と認定し、ついには私自身を意け者と断定し始めたようであった。

私は彼の頑固さには些か癪にもさわったが「働きたくて働けない筈はない」「努力すれば金持になれない筈はない」とおよそ時代離れた確信に彼を至らしめたブラジルの風土に対しては、「働けど働けどがわが暮し楽にならざる」日本人の一人として、はなはだ羨しい限りではあった。

○：ブエノス・アイレスの町を歩いているとしばしば自動車にひかれそうになる。世界にその名も高いカミカセククシーが縦横に走っている東京の混雑になれている我々がブエノスの町のようなノンビリしたところとまどうはずはないのだが、この理由は専ら道路を歩いているラテン美人の美しさに見とれるからである。ことほどさようにラテン美人は美しい。そのミチのさる専門家の調査によ

るとニューヨークでは千人に一人、パリでは千人に二人、東京ではこれは省略するとして、ブエノスでは十人に六人の美人がいるという。ラテン系は背はあまり高くないし、髪の色は黒又はこげ茶色北欧系のようにツンとしたところはなく、親しみやすい。ブエノスに限らずラテン・アメリカは何処へ行っても美人が多い。尤もそんなつもりで出かける者はせいぜい美人の醜態となり。

ラテン美人

移住したある青年が曰く、「こんなに苦勞するなら日本にいても食べていたのに」と。まことにこの青年の云う通り、南米の苦勞は日本と少しも違わないし、ある点では日本以上の厳しさであるう。「海のあなたの空遠く辛い住むと人のいう」などという話を信じてこの青年が移住したとすれば、幻滅以外の何ものをも見出すことはできなかつたであらう。だがもしその青年に理想を追う情熱と努力の精神があったならば、
別である。×

海のあなたの空遠く

×人間のみちみている日本では、他人を

ひきづり下すとか、裏をかかない限り、もはや能力や努力が正当な成果を挙げえないことが少くない。これに反し、「未来の国」南米は、その意志と奮斗を惜しまない者には喜んで正当な報酬を与えるであらう。

海のあなたの空遠くには、「辛い」それ自体は任んでいないけれども、「辛いの大いなる可能性」が、人々の少い分だけ数多く満ち満ちていることは間違いない。

あるアメリカ人と排日問題について語った時である。彼は戦前激しかったカリフォルニア州における排日運動について陳弁これつとめるとともに大いに遺憾の意を表した。夕食になって苦干ウイスキーのはいった彼は先程の議論が受身の弁明だけに終わったのがいささか癪にさわったとみえて、冗談まじりに次のようにいい始めた。「我々の祖先は荒原をよぎり山嶽を越え、沙漠を歩いて、先人の屍の上に今日のアメリカを築いた。そこに日

本人がやって来て、平×

後

塵

×等に扱わないと怒ってもそれは無理ではないか」

私は残念ながらこの主張に同感の意を表せざるを得なかった。人が苦勞したあとに入りこんで直ぐに前の人と同じようにならうというのが無理なことは、何も移住に限ったことではなく何事でもそうである。その意味で開拓者らしい開拓者たらんとする者は人の後塵を拝することなく進んでアマゾンあるいはボリビア、パラグアイの山奥へと志すべきではなからうか。

断じて行えば

銀行に金を借りに行くことは、普通の人にはあまりない経験だが、銀行から金を借りようと思えば、吐気のするほど面倒な思いをさせられるものである。

一休その金は何に使うのだとか、その使い方は良いとか悪いとか、たかいか安いとか、どうやって返す予定なのか、そこがどうのここがどうの、この点がどうも納得できない、あそこがどうも不安心という調子で、しかも金が借りられれば大成功で、さんざん苦労したあげく大体は貸してはくれないのが相場である。銀行家ともなれば、人の大事なお金を預っておるのだから、このくらいな慎重さは是非必要だろうし、それだからこそ我々も安心して預金できようというものであって、銀行家たらずともこのような慎重さ、このようなメンミツな計画と検討というものは何事にも大事なことである。

しかしこと移任に関して、また移住して後の事業に関しては、この銀行家的やり方で



は先ず成功は覚束ない。そしてこのような銀行家の人物は移住しないことが一番よい道である。

祖先伝来住んでいる所でも、なかなか思う通りにはいかぬものである。ましてに万里の彼方に移住しようということは、それ自体大冒険である。冒険をするに当っては、綿密な検討と調査も必要なことはいうまでもない。「盲蛇におじず」というようなガムシヤラな直進は最も睡腹すべき行為であるが、しかしやはり冒険は冒険である。冒険をいとう人には移住は本質的に適しないし、大事業をする資格はない。そういう人は、静かに日本で渋茶でもすすりながら雑談でもしているに限る。

「絶対に見送らない事」は「絶対にやるべきでない」が、世の中は大体六分の成算があれば実行すべきであって、後は努力で何とかやれるものである。十分はもとより七、八分の成算がたつのを待っていたら、結局一生何もしないことになる。

冒険的事業である移住に関して云えば、この六分がむしる逆になって、四分の成算があればやるべきであると思われる。正に「断じて行えば何とやら」である。

移住すべからず

次のような性格の人が移住すると、本人はもとより家族を不幸に陥れ、他人も迷惑する。

1 批評家

「ああでもない」「こうでもない」「それはけしからぬ」「これはどうだ」とこんなことはかり云っている人は、批評家として成功の見込はあるが、移住するにはおよそ不適當である。移住はよそからみていて批判することではなく、自らが汗を流すことである。批評家は不言実行だとメシのくいあげだが、移住して有言不実行だとメシのくいあげとなる。

2 誇大妄想狂

大いなる理想や大計画はまことに望ましいが、理想や計画が空転して着実な実行と努力が伴わないと、誇大妄想狂という病名がつけられる。

3 大衆煽動家



演説を得意としたり、大衆を煽動指揮することにはたけている方は、是非日本国内に残って政治家になつていただきたい。

4 早く財産家となりたい人

そういう人は宝くじを買うことをおすすめする。

○：戦後日本人は、集団で交渉したり、行進 つ眉をひそめるのである。

したりするのが甚だ上手になつたが、それは 中南米には革命がしばしばおこるが、集団
それでよいとしても、中南米では、日本ほど 陳情などをして先方の人を驚かすと、革命が

労働運動ははげしくないし

集 団

陳 情

おこつたのかと早合点され
て、刑務所にほうりこまれ

生活はノンビリしているか

るかもしれない。それ程でなくとも折角かな

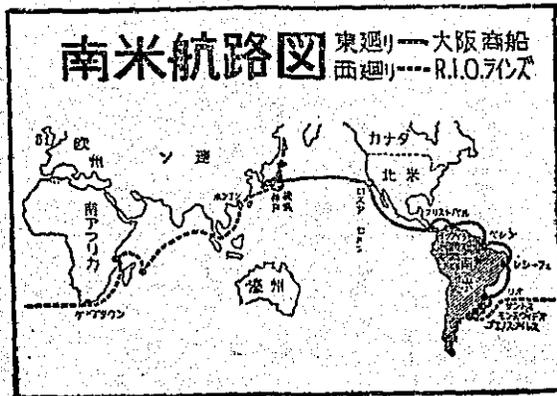
ら、この種の行動をする者は少い。

従つて日本人移住者が集団的行動をとると えられる願望が、かえつてかなえられなくな

先方の国の人々は、「何事ならん」と驚きか ることもある。

閑日有楽

「…南米まで船で五十日」と聞くと大抵の人がウンザリする。五十日も船に乗って青い空と海を眺めて暮すことを考えるとそれだけでいやになってしまうのである。しかし不思議なもので初めの数日は緯度と経度を調べては地図の上に鉛筆で「ここまで来た」「明日はここまで来る」「明後日はここまで」と文字通り一日千秋の思いでイライラするものだが、二週間もたつと次第に諦めの境地に達し、さらに二週間にもなると退屈自体を楽しむ哲人の域に達する。そして船が目的地に着く頃



は決して誇張ではなく、もっと乗っていたいような気がするようになるものである。

大体、現代の人は忙しすぎる。年がら年中何かに追われて走り廻って二日も休日が続くと天下をとったように喜んでいる。病気でもないのに五十日間の閉日を樂しむということは真に珍らしいことであって、失業でもない限り一生の間にそう滅多にあるチャンスではない。まして今後ますます航空機が発達してくれば、船に乗って五十日間も航海したということは、偉大にしてロマンチックな経歴として羨ましがられるようなことにもなりかねまい。とに角、今日一日、何もなくてもよいということ、そして明日もまた明後日も何もしなくてよいというような経歴は、そう度々はやりきれないが一生に一度や二度はよいものである。近頃はやりの人間ドックに入ったと同じ効果があるかも知れないし、また来しかた行く末を考えるよすがともなるうし、下手な俳句を始めるキツカケとなるかも知れない。また忙しくなった時に忙しい方が退屈よりはましたと仕事に精出す原因になるかも知れない。そして心がけのよい者には何か一つのことをまとめあげるに十分な日数でもあろう。

斜陽宣伝族



終戦間もなく爵位が廃止になったころ、「男爵」などという肩書の上に棒線を引いた名刺をわざわざ使った人がよくいたものである。名刺というものは大抵百枚を単位として印刷するのが普通と思うのだが、二年も三年も、時には五年も、六年も、「棒引男爵」の名刺を貯蔵しているモノモチのよい人もいたようである。

必ずしも「元男爵」に限らず、移住者の中にも斜陽宣伝族はなかなか多い。「長い間村長をやったり、県会議員にも推された」「会社の社長だったが、金融引しめのおおりにくって工場を閉鎖した」「おやじは多額納税議員だった」「〇〇大臣は、ごく親しい」等々。これらの話は大部分嘘ではないであろうし、又誰でも自分の過去について語りた誘惑から脱げることがなかなかむづかしいものである。

「斜陽宣伝」ということは、別に悪いことではなく、むしろ輸送船の中の退屈のぎに

はもってこいであって、どうせのことなら「農地開放で一万町歩を小作人にただで分けやった」「株で十億円ばかりかるくすってしまった」「○○会戦の功により功一級金鶏勲賞をもらった」なんていうのは景気がよくて、元男爵の懐古談を聞くより、自慢話をされる方にも船酔いさましにはもってこいだらう。ただ斜陽宣伝をやっているうちに

寄港地での注意事項

- 1 荷物の揚げおろしのため人夫等が乗船してくるから盗難に気をつける。
- 2 同様の理由により、傷害、特に子供の怪我に気をつけること。
- 3 人夫の中には程度の低いのがいることがあるから、婦人だけで居室あるいは人目のつかぬ場所にいることはよくない。
- 4 港内に汚物、紙屑、果物の皮等を捨てない。
- 5 洗濯物を干さない。
- 6 上陸した場合は必ず団体行動をとることとし、少くも一時間前には帰船する。
- 7 買物のつり銭を他の国で使えない貨幣でもらわないこと。

自己陶醉に陥って、

「だからおれは労働なんかする人間とはミブンが違う」「又そのうち何となくうまくいくだろう」なんて考えていると、斜陽宣伝族は完全な暗黒の世界に陥落することになる。

語学急速上達法

こんなものが世にあれば誰も苦勞しないのだが、語学などというものはそう簡単に上手になるはずがない。またそれだからこそ「語学急速上達法」などを読む人間も多いというわけであらう。

明治以来の日本の語学教育はこの世に存在する非実用的な典型的なものであって、英語の先生が英語をしゃべれないなどというのは少しも珍しくなく、むしろしゃべる先生の方が珍しいくらいである。

従って若干の例外もあるうがその先生に習った生徒がすぐスラスラしゃべる筈がない外国語を習うには、我々が今日かくも日本語がうまくなくなった理由をふりかえてその通りやるとおのずから上手になるのである。即ち、子供と同じように、"ケ・エ・イスト（これ、なあに？）"と朝から晩までやっておれば、一日に単語の二十や三十を覚えるのはわけではない。手まね足まねで、しゃにむにしゃべっておれば、時に失敗はするかも知

れないが、やがて用は足せるようになる。新米の日本人が、うまくその国の言葉を話すなどということは、先方は少しもキタイしていかないのだから、恥をかくまいと愛にすましたところでしようがない。少し上達してくれば、新聞や三文小説を拾いよみしておれば、間もなく大体意味が分ってくるものである。

子供の頃コウダン本や新聞をよんで分らないからといって我々は字引をいちいちひたこともなかった筈である。文法などは後でよい。日本後を習うとき、「だに、すら、さえ」「て、て、つ、つる、つれ、てよ」などとやっていたら、何が何だか分らなくなつて、日本語なぞみるのもいやになるにきまつている。文法は一応いろいろなることが分りかけてからやることである。外国に行つてその国の言葉が分らない程つまらないことはない。映画もラジオもサツパリ分らないでは無味カンソウな生活となつてしまふし何よりも仕事があまくいく筈がない。啞で成功しようなどというのはもともと無理なはなしである。日本人が同化民族として嫌われるのも、この言葉の欠点が大きな要素をしめていたのであらう。



タタミのタタリ



タタミは日本の生活の象徴となっている。尤も、その歴史はそれほど古いものではなく室町時代以降であって美しき平安時代の公卿宮女も、鎌倉時代の禅坊主も別にタタミとは縁はなかった。従って、タタミを日本古来の「醇風美俗」として固執する要は少しもないのだが、日本人のタタミへの偏愛は米に対すると同じようになかなか強いものがあるようだ。

しかし、考えてみるとタタミには悪いところもなかなか多いようである。第一、歩くところも坐るところも、そして寝るところも同じというのは、清潔民族(?)を以て自他ともに許す日本人としては甚だ感心できない。「何とかとタタミは新しほどよい」と言われるが、実際古くなったタタミはどうみても美しいとは言えないし、そうかといつてその度に新しいのかえることは経済が許すまい。そして古いタタミは埃の巣窟で非衛生的なこと甚しい。

また、タタミに坐っていると立上るための必要エネルギーは椅子から立上るより遙かに大きいから、つい憶却になって生活が敏捷さを欠き行動的でなくなる。そして、ゴロリとねころんだりする無作法もでてこようというものだ。ベッドで起きる時は少しづつ体をずらせば自然に床の上に立上ってしまうが、ふとんから起上ろうとすれば冬などは決死の勇気を必要としよう。タタミに坐れば男性のスポンは「く」の字となってスマートさを害し、女性の足は大根足となってスタイルを損う。一々あげれば悪いことばかりが目立つようである。考え得る唯一の美点は同一面積が客間となり、食堂となり子供部屋となり寝室になるというユーズムゲな点だけであろう。まことに貧乏國的長所である。

いずれにしても、少くとも海外に出掛けようというような人はこんな欠点だらけのタタミなどはきれいなサッパリと忘れて、足は真直に長くスマートになり、朝起きるのも辛くない洋式生活を採用すべきであろう。

馬 力



スポーツの国際試合で日本側が負けると、スポーツ評論家は必らず「体力の差で負けた」と結論つける。そしてこの結論は、人力の圏外にある自然現象の如き印象を以て人々を諦めさせるのである。

しかし体力の差は果して自然現象の如く宿命的なものであろうか。同じ日本人種でありながら外国に住んでいる二世三世は、背も高いし肩巾も広くガッチリしている。プロ野球で活躍している二世選手は既に知られているところであって、又、本国産水泳選手の寿命は長くも三、四年しかないのに、北米のコンノ、オヤカワ、あるいはブラジルのオカモトなどは、何れもヨーロッパ人並の体力を発揮している。

これらの理由は、要するに栄養の不足に由来すると思われる。

日本人の摂取カロリー量の平均は僅かに二一〇〇カロリーで、世界標準の三〇〇〇カロリーの三分の二にしかあたらず、蛋白質やビタミンに至っては半分しかとっていない

かくも栄養不足では体格も悪くなるうし、国際試合にも勝てまい。「体力の差で負けた」などとアッサリ諦めること自体体力の不足からくるのであろうか。

海外に渡って奮斗努力するためには、すべからず世界標準並に牛でも豚でも鶏でも馬でも大いに食べて大馬力をつける必要がある。日本内地ではお茶づけや味噌汁でも、慢性栄養不足ながらどうか体も持とうが、気候のより厳しいところではとても日本の栄養ではもたないし、体力のある外国人と太刀打ちができなくなってしまう。その上、味噌、醤油の日本の料理は経費もかえって高くつくから、正月かお祭にだけお茶づけかメザシのご馳走をするとして、ふだんはその土地に適した豊富な、従って安価な栄養を夕ラフク食することが必要であらう。

○：ブラジルの農場における食事の時間は大体次の如くである。午前四時～五時→コーヒー 食事の時間 *前
午 九時
* 朝食 午後一～二時→昼食
午後三時→コーヒー 午後
七～八時→夕食

同じ日本人種ながら二世の顔が原産地の日本人と違うことは、少し馴れた者にはすぐ分ることである。

一体どこが違うかというところ、要するに二世の顔には「しわ」が一本少いのである。

若い人にはしわはないし、又、年取った人にしても、原産地のどこのしわが二世より多いのかと聞かれると、答えに窮するのだが、調べてみれば二世には「抽象的しわ」が一本確かに

少いようだ。

×

顔のしわ

×

そしてこれによって、我々は原産地日本人と、

外国産日本人を見分けるのである。

尤も二世でも日本に長らく住んでいた人、日本で教育を受けた人など、いろいろ種類があるので、時には判別するのに相当困難なこともある。

いずれにしても原産地日本人のこの一本のしわは、激しい生存競争と、貧しい生活の苦斗の現れであろうか。

アマゾン河を遡ったときのことである。定期船などはないので、自分で二十屯の船をやとった。乗客は一人で、船長以下三名にかしづかれておもむろに船付場を離れた。両側とも密林の家一軒もない静かな水の上を、かれこれ二時間も遡った頃であるうか。急に船はへさきをくるりと廻して再び河を戻り始めた。どうしたことならんと聞いてみれば、船長の曰く「シャツをとりかえに行く」とのこと。別にすまなそうな顔もせず

当然のことのよう×

偉大なる人物

×にこういうには、怒ることほもとより驚くこと

さえ忘れて、この「時間を超越した偉大なる人物」の顔を上げしげと見つめざるをえなかった。かくて船は再び二時間近くかかって河を下り、又二時間遡って四時間即ちほぼ半日間を完全に消費したのである。河口の白州が九州程もある馬鹿でかいアマゾンの開発には、この「偉大なる人物」のようなゆったりとした気持が必要なのかもしれないと、性急な日本人の一人として考えたのであった。

種芋となること勿れ

昨年十月二十日付読売新聞の報ずるところによると、南極に出発するある観測隊員の出身地では同隊員を送るべく盛大な欲送会を催したまでではよかつたが、同隊員に町旗を手渡して、南極にかかげてくれるように依頼したとのことであつた。どこの町だか知らないが、町旗とかいうものが南極大陸にはためいては、人間より先にペンギンが驚いてしまうことだらう。南極大陸の国際管理が問題になり、人口衛星が飛び、月世界への旅行も話題に上り始めたというとき、南極大陸に町旗をうちたてて「町威？」を發揚しようとしたこの町の人々の時代錯誤は相当なものようである。

しかし、実はこの町民のような人は日本にはいくらもいるように思える。最近移住に關する関心と熱意が各方面にみられることは非常に喜ばしいが、熱心のあまり「分村計画だ」「分県計画だ」とか相手の国のことも考えずにピントの狂つた「大計画」をふりまわしている向きもなかなか多いようである。

アメリカでもブラジルでも、日本人のまとまっているところ必らず「県人会」なるものがある。外国遠いかなくとも、東京や大阪の大都會には県人会が多い。同郷者が相集つて懐久談に花をさかせることは非常に結構なことだが、それが派閥や封鎖的社会となつては、利益よりもその害の方が目立ってくる。そして外国における県人会にはそのようなものも少くない。廢藩置縣をしてから未だ九十年にしかならないためなのか、日本人の県人意識の偏狭さには困つた点がなかなか多い。日本人はもともと「日本人」ということにこだわりすぎて、小さくまとまって封鎖的社会をつくるために、外国では「不
同化民族」としてともすれば嫌われがちである。加うるに、この小さい四つの島を四十
六に分けてケンケンとやられてはたまらない。日本国内ではケンケンというのは、橋を
かけたり補助金などで少しは役に立とうが、日本という枠から飛び出して世界を家とし
て大きく飛躍しようとする移住者は、ケンケンだとかグングン、テヨウテヨウ、ソソツ
ンなどとちっほけなことをいうべきではなからう。種芋ではあるまいし出産地証明をつ
けて歩かねば安心できないようでは困る。愛郷心は偏狭心とは似て非なるものである。

雑学と小器用

昔から「器用貧乏」という言葉がある。小器用にいろいろなことができる人間は、結局、何もほんとうに完成することがなくて、貧乏暮しで終ってしまうという意味であるようだ。

だが一般的にいってもこの言葉は必ずしもあてはまらないようだし、特に開拓地においては「小器用」と「雑学」とは、重要な要素である。

自分で家を建てるくらいの大工的素質は、開拓移住者には必須の条件であるし、自動車や運転修理やその他種々の機械を操作できるということは、それだけで、メシのタネとなる可能性もある。未開地では、若干の医学的知識があれば「ハカセ」の尊称をたてまつられるかもしれない。尤も「生兵法は大怪我のもと」とも云われるが、真の兵法を知った人のいないところでは、生兵法でもないよりはよいにきまっている。簿記を知っていれば協同組合の仕事を頼まれもしようし、兵隊で塹壕を掘った経験は、開拓地建設のた

めの土木技師たる榮譽をになうこともあろう。

要するに開拓は新たな人間社会を創造するのであるから、社会に必要な技能知識は、何事であれ、これに通じていけば、自分のもとより移住地全体にとって大きなプラスとなるであらう。

開拓地だけでなく、サンパウロのような開けたところでも、この原則は変らない。最近、サンパウロ市には外国から新たに渡った人々が職を得られないでウロウロしている傾向もあるようだ。無学無能、それに加えて無語？ ではいくら海外への意欲が盛んであっても、それは移住者というよりは、海外への流民となってしまう恐れがある。

移住しようとする者は、すべからず雑学を修め小器用をあなどるなかれ、である。

○：便所、汚水溜、畜舎等は蛆、蚊、ぶよ等の有害小昆虫が好んで繁殖し姻集する所であるから必ず主家屋の風下に於て五〇米以上はなれたところに作るべきである。また、便所は一〇米ぐらい深く掘って、糞便層が地表面下少くとも五〇糎までになったら土で掩いかぶせてその上に果樹苗を植えておけば育ちもよく且つ衛生的である。井戸を掘り地下水を利用する場合には便所、汚水溜、畜舎等から少くも五、一〇米（土質によって異なる）の距離をおいて掘らねばならない。

女神ならでは夜もあけず



昔から「女房の不作は一生の不作」と言われる。これは男性側の随分勝手な言い方で女性から言わせれば「亭主の不作は末代までの不作」ということになるのだから、しかしまあ、ここでは男女同権論暫くは後廻しとして、とも角、この言葉は移住する者にとって甚だ痛切な言葉である。

どんな仕事をしていても女房の役割の大事なことは「神さん」とあがめられるくらい大切ではあるが、移住して行って女房の悪いことぐらい始末におえないことはあるまい。気晴らしに一杯のみに行くバーのマダムもいなければ「女房と昼は新しい程よい」とばかりに取りかえるわけにもいかない。いやでも一生を共に送らねばならない。また、そんないやな気持で毎日を送っているようでは、どうせロクなことは出来ないで、あたら生涯を下働きでおわるのがオチである。

開拓者の妻に必要な資格はいろいろあるが、決して欠くことの出来ないのは健康と

明朗さである。女房が病身では全然話にならないし、クヨクヨしていられては、とても開拓などは出来ない。

「健康にして笑顔を失わない妻」は文字通り「神さん」であって偉大なる女神である。

そして、その女神の亭主は必ずや成功するだろう。今日、北米でも南米でも成功している人々は例外なく、この「女神」級の女房をもっている人達である。

移住希望の独身青年は、すべからく女神的女性を金や太鼓で探す必要があるし、妻帯者は速やかに「お神さん」を女神に仕立てなおすべきだ。

南 十 字 章

○：南十字星勲章は一八八二年十二月一日、ドン・ペドロ一世の戴冠式当日に創始されたもので、軍人としてまた民間人として、事業または行為がブラジル政府の感謝に値する外国人に対して贈られる。この勲章は次の五階級にわかれている。大頸飾章、大十字章、グレイト・オフィサー章、コマンドー章、オフィサー・アンド・ナイト章
日本人ではブラジル東山農場総支配人の山本喜吾司博士が昭和三三年一月に授与されている。

旗 ○：ブラッセル

の国旗は一八

八九年十一月

国 十九日の法令

で制定された。そこ

で軍隊や学校ではこ

の日を「国旗の日」

(ディア・デ・パン

ディア)として祝う

ことになっている。

この国旗の中には

「秩序と進歩」(ORD.

EM E. PROGRES.

○)という文字が入

下士官根性

大宅壮一氏が、植民地における旧移住者を「下士官根性」と批判したことは既によく知られているところであるが、下士官根性という言葉は、およそ「根性」と名のつく言葉にロクなものがないように、甚しく誹謗的なものであることは明らかである。軍隊でいえば下士官根性、家庭でいえば姑根性というのは、専らその組織の中で食べてきたメンコ(飯下ンブリ)の数の多さを誇り、正論や理論に耳をかさず、経験や伝統のみを第一義におき、新来者を頭から侮蔑し自分が経てきた苦しみを新来者に再びおしつけて痛快がるような心理状態をいうものようである。そして旧軍隊崩壊以来、下士官根性に対する攻撃は甚だ盛んである。これは真に結構なことで、双手をあげて賛成であるが、下士官根性の対称的存在である「新兵根

っているが、これこそブラジル國民の理想である。移住する人達にとって、その國の国旗はまた自分の達の国旗でもある。移住者もまた秩序をよく守って発展してもらいたい。そして、その重んずべき秩序とは決して日本のものではなくその國の秩序でなければならぬ。

性」にも些か異議がある。

新兵根性とはそもそもどんなものであるか。何も知らなくせに何事でも知っているような顔をする。なまはんな原則的知識でしたり顔して、十年の努力を経た人々を批判ばかりする。努力と苦斗は省略して、その成果だけは一人前に頂戴しようとする。こういう新兵根性は、「意地悪な下士官的人物」が少くなるにつれて社会のどこにでも多くなってきたように見受けられる。だが、新兵根性の持主では、趣味や道楽の手すさびでさえ決して大成はできない。まして事情の全く異なる外国に移り住んで、文字通り一年生から始めぬばならない移住者にとっては、安易な新兵根性は最も避けねばならないものである。いい悪いの問題は暫く別として、意地悪な下士官にたたきあげられた日本の新兵は、世界にその名もたかき精兵となったことは、一応記憶しておく必要がある。

少数民族

日本のように、そこに住んでいる人種が全く同一性を持っている国では、国内の多数民族だとか少数民族だとかいうことは全く問題にすらならないが、それでも他県の人間を「ヨソモノ」などと少しばかり「別扱い」にする風習はないでもないし、未だにいわゆる「部落」に対する差別待遇も残っている。まして二種以上の民族の混在する国ではどこでもこの「少数民族問題」は重大であって、たとえば米国においては少数民族たる黒人問題は、共産主義の脅威よりも原子力の問題よりも、何ものにもまして国内外を通じ最大の問題といわれているくらいである。日本人も海外へ移住をすると、そこで少数民族という立場になるわけであるが、少数民族はよほど慎重に振舞わないと、多数民族から排斥をかうことは他国の例をみるまでもなく日本移住史がしばしばこれを物語っている。一度排斥運動が起きると、ちようど一人の厝候が家主一家から日夜いじめられるように実に陰鬱なこととなり、その民族の新たな移住の可能性などというものは全く吹飛んでしまうことはいふまでもない。

多数でもって少数をいじめるということは、多数民族側としても大人げないことで感心できないが、少数民族側に責任のあることも決して少くない。そして古来またこの国でも少数民族が嫌われる理由というのは大体次のようにきまっているものである。

1 少数民族が自分達だけの部落をつくったり、学校をつくったり、特異な風習をもちこんだり、要するに彼らのみの小さな社会にかたまって多数民族に同化しない。

2 少数民族の内部で互いに争ったり、騒動をおこしたりする。

3 多くの者が社会の下層にあって、その教養は劣悪でその国の文化に貢献しないばかりか、犯罪その他の温床となる。

4 主として消費経済（例えば料理屋、パチンコ、キャバレー、プロカー等々）に寄生し、積極的にその国の経済発展に寄与することが少い。

他にもあろうが、大きく分ければ大体右の四項目に入ると思われる。

日本人はこの四項目と反対になるよう努力すれば「好ましき」少くとも

「嫌われない移住者」となることができるであろう。



西 部 へ

最近次のような實際の話があった。

南伯のある奥地に入植した移住者が、運よく忽ち相當の成績をあげることができた。そこで飛行機でサンパウロ市に遊びに行ったところ、すし屋もあればそば屋もあり、日本映画の上映館もあるサンパウロ市にすっかり魅せられて、奥地でもこれだけもうけるのだから、サンパウロに行けば、もっともうけるだろうと考へた。そこでサンパウロ市内に引越して来たのだが、忽ちせっかく貯めた若干の蓄えも失って、元のモクアミになつたというまことにバカラシキお話である。

しかしこのようなバカラシキ話は実のところ決して少くはない。ブラジルは都会と田

ブラジリア

ブラジルの中央にあるゴヤス州のそのまた真中の大原始林の中にある地名。ブラジル政府は中央の未開発地域の開拓を促進する為一九六〇年を期して現在の首都リオからここに遷都することになった。

舎の文化の相違が激しく、田舎に行くとは日本ではとても考えられないような低い文化の段階にある。その上、子供の教育の問題も心配だし、町へ出れば日本人が多く、郷愁もいやされるといふわけで、町へ出たがる移住者は非常に多い。

その国の言葉も法律・習慣も、事情も分らぬ外国人が成功する基礎は、肉体力と精神力に頼る以外にはない。そしてこれらは、都会を離れば離れる程発揮できるのであって、大した技術もない新来の外国人が都会でウロウロしておれば、せいぜい靴磨きか守衛又は小使になるより他はなからう。そしてそれで一生終ってしまうのである。一般的にいえば北米でも南米でも田舎で長く頑張っていた移住者程成功率は高く、早目に都会に出て来たものは、うまくいったところで大したことはなく、大体不成功に終わっている実例が多い。

北米大陸の開拓華やかなりし頃、都会に住んでいた者が「西部（奥地）へ行く」ということは、より成功の可能性の高い処で再起を期してくるという意味であったが、今日の南米においても右の原則はあてはまることであろう。

資本があると損をする話



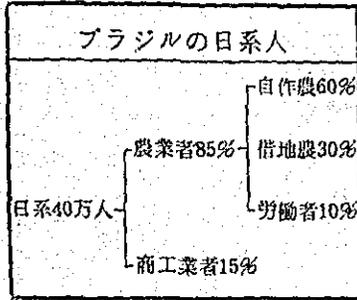
素手で働くより資本があればよい金もうけができるということは経済学者も、重役も、夜なきそば屋の主人も全く異議なく賛成するところであろう。ところが南米各地の日本人は、これまた一人の例外もなく

「金を持って来た者は失敗する。」と知っている。これらの人々のいうところは、「資本を持って来たものは、これにたよって何よりもまず心構えが悪く、真黒になって働くという気魄に欠けている。そして事情も分らず、言葉もできないくせにやたらに成功をあせってくだらぬものに投資してスカンピンになってしまう。金をもつて来る新米の移住者を甘言をもってゴマカソウとして待ちかまえている悪質な先輩も少くない。それから初めて真剣になってやりなおすこととなる。従ってたとえそれからうまくやったところで無資本で渡航して当初から真剣にやった者より、金を使いはたす期間の三年か五年だけはかえて成功が遅くなるというわけである。まして持参した資本

がなくなつていく間に、やけ酒を飲んだり心身を消耗したりすれば、立上ることもできなくなることとなるう——というわけである。話をきくとまことにもっとも至極なことである。

しかしながら「資本あるところに利益あり」という経済の大原則が移住者にだけあてはまらない筈はない。したがつてこの南米の大先輩達の話は次のことを意味すると理解すべきであらう。即ち第一に移住に際しては、通常の世界では成功の最大の武器である資本さえも不撓不屈の精神にはかなわないということ。そして通常の世界では原則として資本がなければ成功はおほつかないのであるが、南米は徒手空拳の無資本でも成功の機会が甚だ大きいということである。要するに「資本があると損をする話」という題名は、より正確にいえば「資本よりも何よりも精神が最も大切であること、資本がなくても成功することができる」と、更につけ加えれば、資本をもつてしかも精神もしっかりしている者は鬼に金棒という話」という長たらしい題名となるう。

汝の叢を離れるな



子供達が野原に苺を取りに行った。一人の子供はあちらこちらに苺の叢を求めて歩き廻って苺を摘んだ。他の子供は腰を下して一つの叢の苺が完全になくなるまでゆっくり摘んでそれから次の叢へと移っていった。夕方になってみると、前の子供は、結局あちらこちら飛廻って疲れただけで、いして苺を摘めなかったが、後の子供はあまり疲れないで籠一杯の苺を摘むことができた。以上は外国の童話に出てくる話である。しかしこの教訓は子供より大人に必要な、

そして移住する者には是非とも興味してもらいたい教訓のように思われる。

今日南米には、他の同胞が巨満の富を蓄えているとき、数十年前に移住した人で未だに日傭いをしてその日その日を過している者も決していないわけではない。それらの理

由は不幸にして家族の働き手が亡くなったというような気の毒な場合もあるが、酒とバクチに身をもちくずした者も多い。そしてもう一つの理由は、この童話に出てくる前の子供のような人の場合である。

これらの人々は、この子供が次から次へと毒の叢を求めてウロウロしたように、「何かよい仕事はないか」「少しでも賃金のよいところはないか」「一獲千金はないものか」などと、ろくに腰を落着けて働くことをしないで、ただ何となくあせりにあせって、利益を求めて右往左往して、その結果は旅費の借金がかさむだけということになったのである。

右も左もかえりみない愚鈍な勤他家も必ずしもいいとはいえないが、このようなオッチョコチャイは成功の見込は殆どない。腰を据えてじっくり努力しているところに、やがて機会は訪れてくるものである。

○：ブラジルで成功した人は多い。この中、ゴビー樹を五百万本も所有している総資産額五十億円ぐらゐの金持が一人、この半分ぐらゐの輩 農が一人、**成功者** 農が一人、**か二人**、そして五億円以上の成功者が数名、五千万円以上となると、おそらく数百人を超えるであろうと言われている。

免に角そこへ行くこと

「キリスト教」といえば「クリスマス」を思い出し「クリスマス」といえば「馬鹿さわざ」のことときめている日本人は甚だ多い。

しかしカトリックを国教として定め、政治上も社会生活上もカトリックが圧倒的な支配力をもっている中南米諸国に移住する人々はそれではすむまい。たとえば一度ブラジルに渡ればどんなに喧嘩をしても、夫婦別れは生涯絶対にできないのである。これはカトリックが法律にまで決定的影響を与えている一例で、そこに住む人は是非カトリックに対する理解を深めなくてはならない。

若い人々は別として、木魚の音と読経の声に馴れてきた年輩の人々には、贊美歌をききながら血のしたたるキリストの前にぬかずくなどというバターくさい？ ものは、どうもとりつきにくいと感ずる人も少くはなからう。しかし「遠くの親類より近くの他人」ということもあるくらいで、おしやか様に義理立てしたところで別にご褒美を頂くわけ

祭 日	
復活祭	春分後の満月後の最初の日曜日
キリスト昇天の大祝日	復活祭後40日に当る日
聖霊降臨の大祝日	復活祭後49日目の日曜日
三位一体の聖祝日	聖霊降臨後第一日目の日曜日
聖体の祝日	聖霊降臨の次週木曜日
聖母被昇天の大祝日	8月15日
諸聖人の大祝日	11月1日
クリスマス	12月25日

でもないから、時には散歩がてらに入場無料の教会を訪ねることだ。教会は少くとも自分の家よりは立派な建物であろうから、陶然として賛美歌と説教に耳を傾けておれば、心は遠く俗世を離れて、よいレクリエーションとなるであろう。

宗教論や信仰論は一応後廻しとしても、とにかく教会へ出かけることをすすめたい。

ド
ウ
カ



「ドウカ・ドウカ、ドウカ」などくりかえすと、何か催促されているようだが、ながらく「不同化民族」という非難を外国から受けてきた日本人としては、何回もくりかえして自らを戒しめねばならない言葉ではあろう。しかしながら同化ということを誤解しては困る。

戦争に負けて占領軍が入ってくると、アメリカ兵の真似をして、ラップズボンや毒々しい原色の色などがはびこり、チューインガムをクチャクチャかみ「ヘーイ・ヘーイ」と異様な声を出すとアメリカ民主主義のチャンピオンになったつもりの人々が続々と現われてきた。チューインガムやヘーイヘーイはアメリカの下等な人々の風習かもしれないが、民主主義とは何の関係もない。我々がアメリカ人から学ぶべきことは、その勤勉であり合理性であり、そして清教徒的情熱と、新大陸を文明化した開拓者精神であらう。ところが移住して同化、同化といわれると、この終戦後の例のように、ヘーイヘーイ

や、チューインガム等の悪い面ばかりをすぐに真似してしまう傾向がみられる。どの国でも、その国における劣等な人間と同様な外国人の入国などは少しも望んでいないのであって、その国民の資質を高め、文化を豊富にするような外国移住者をこそ望んでいることは当然な話であろう。同化とは決して劣等化であってはならない。渡航先の国民の美点は一日も早くこれを取り入れ、どちらでもよいことはその国の習慣に従い、そして自国民の長所はこれを充分に發揮してその国に寄与するということが、真の同化の意味でなければなるまい。

土地 売 り

日本でも他人の土地を売る地面師という詐欺がたまにはいるようだが、南米のような広大な国では数々新聞紙上を賑わしている。この詐欺にかかると、大地主の夢は忽ち変じて虎の子の全財産を無くしてスッカスカンになることはいくらでもない。そしてこれら詐欺師のカモは、事情を知らない新來の移住者である。

男性のシンボル



中南米に行くと、ヒゲを生やした人が実に多い。カイゼルひげや、あごヒゲはあまりみたことはないが、いわゆる「チョコビひげ」は、全男性に対し法律によって命ぜられているかと鎖覚をおこすほど多い。第一ヒゲがなければ女性から子供扱いされて、いかに好男子といえども、女性の愛情をもちえることは殆んど不可能であろう。年寄はもとより、三十や二十ぐらいでもヒゲを生やしているのは普通であって中には十代で立派なヒゲを蓄えている者もいるし、女でヒゲのある人を見たことさえある。もっともこれは特別の宗教関係で、毛を剃ってはいけないという禁制のため、ヒゲを生やしているように見えただけのことであった。

日本でも明治時代の黄色くなった写真をひろげると、大抵の男がヒゲを生やしているし、大学生なども堂々たるカイゼルひげを生やしていたものである。この伝統はこ

く最近まで大学の応援団あたりにも見られた。

現在は日本はもとより、世界の大低の国でヒゲはあまり流行していないにも拘らず、中南米はどうしてそれほどヒゲがはびこっているのでしょうか。

例外もいろいろあるけれどヒゲというのは、はやした経験のある人に聞けばよく分ることだが、要するに威厳をつけるというのがその目的である。そしてこのためには「威厳を備えているらしい」という事実が、人々から恐れられ、尊敬されるという社会的雰囲気が必要である。

近代社会では、すべての偶像は破壊される。先生も親も、上役も更には学者も総理大臣も容赦なく批判と攻撃的にされる。そして「すべての批判や非難を許さないような威厳」を保とうとする努力は、むしろ嘲笑と悪ばの的となるのが通例である。従って威厳をつけたいと内心熱望する人も、こういう社会ではヒゲを生やしても大して効果がないどころか、逆効果であろうとヒゲをたくわえることを諦めてしまうものらしい。

この推論が真実とすれば、中南米でヒゲが未だに巾をきかしているのは、なかなか象

徴的である。

真の意味の戦争や革命を経験することなく、豊かな生活と将来への可能性を約束する
国土は、善悪は別としてあらゆる意味で「古き権威」が未だ播らいていないことを物語
るものではなからうか。

この意味で、日本をはじめ旧世界においては既
にほとんど矢われてしまった「十九世紀的ロマン
シズム」や「明治的立身出世」を志す人々にとっ
ては、中南米はまことにかゝこの活躍舞台とい
えよう。もっともそれを志す人々は「二十世紀的
サラリーマン根性」では、とても物の役には立た
ない。「二宮尊徳的刻苦勉勵」が必要であらう。

南米の事業

経済が激しい成長期にある南米
では、事業の倒れることも早いし
立上ることも早い。

農業も又この例に洩れず千年以
上も安定あるいは沈滞している日
本とは全く比較にはならない。去
年他人の力で辛じて独立した者が
今年に忽ち大きな地主となること
は少しも珍らしい事例ではない。
もちろんその反対も時にはあらう

チップ秘伝

外国に行った者が悩まされることの一つにチップがある。ホテルに泊ればもちろん、レストランで食事をして、エレベーターに乗っても、時には頼みもしないカバンを無理にとりあげられても「チップ」というわけである。ヒゲをはやして陸軍中將の礼装のような立派な恰好をしたボーイにチップなど出して、反対に怒られやまいかと心配したり、十仙にしようか二十仙にしようか、十仙だとコーヒーが一杯飲めるな、二十仙だと七二円だな、などと換算するのもなかなか大変である。今すぐ出すべきか、後で出すべきか、人の見ている前で出しているか、悪いかなどと考えていると、顔面緊張して試験場に臨んだ学生のようになってしまう。

そこでチップの出し方について伝授することしよう。

先づ食事について云えば、大体支払額の一割、しかし店のサービスが悪ければ減額してもよい。女給仕でも気に入れば二割あるいは三割はずんでもよからう。尤もそんなこ

とをしたところでナメラレルだけであらうが。それはもはや個人的趣味の問題であるからここではふれないこととする。カウンターで食べるようなところ、即ち給仕が運搬する労のないところでは、チップをやる必要はない。

ホテルなどのチップとなると、各国の状況によっても異なるので一概にいえませんが、その国の新聞の朝刊の値段の二倍を「基準単位」とするとよい。ホテルや飛行場で荷物を運ばせれば、一個についてこの「基準単位」というところが適当である。

ドアボーイやエレベーターボーイにその都度やる必要はなく、特に深夜に運転させたり、数日泊って帰るときなどは基準単位ぐらいいもやればよい。ホテルのルームボーイにやる必要は必ずしもないが、特に汚したりした場合はひきはらうとき枕の下や机の上にも基準数コ分おけばよい。ホテルの部屋に何か運ばせたりしたときは、その時刻、重量、距離等を勘案して、数ヶ単位渡すべきであらう。

要するに原則的にいえば、その国の物価、特に労働賃金及びサービスを提供される場所の格とそれから自己の財布の状態を基礎に「先方の具体的労働の量と質に応じ、しか

もその都度、そしてたとえ少額でも」ということになる。日本人はとかく「あまり少く
てはかえって失礼だ」と考えて出し渡すこともあるが、先方は別に一人の客からもらっ
て食べているわけではなく、チップ稼ぎ等は本来「チリも積れば山となる」を地で行く
商売であるから、少額でも遠慮なく威張ってやればよい。むしろ日本人は言葉ができな
いところをカバーするために、やたらに多く渡すことの方が多いうた。通常の十倍も
二十倍もやればどうだか知らないが、多くやったところで別にサービスも良くなるなら
ないし、又たいして尊敬もされまい。外貨事情も悪いことではあるから、あまり、フンパツ
する必要はなからう。

従って時に応じて何時でもチップが出せるように小銭を常にガチャガチャポケットに
いれておく必要がある。しかし小銭がなくてもあわてる必要はない。一ドル紙幣を出し
て、このうち二十五仙をお前にやるからおつりをよこせといえ、先方は喜んでおつり
をくれるであらう。尤もこの時は両替料として通常より若干多くやる必要がある。

平然とチップのおつりをとるようになればチップ道も極意に達したといふべきである。

日本の親の子供に対するしつけ教育の不足は甚しい。子供が悪いはずらをして
も、他人に迷惑をかけても、さながらそれが特権であるかの如く当り前のよう
な顔をしている。そして年頃になると今度は反対にああでもない、こうでもな
いと干渉し過ぎて、親子喧嘩をしているが、時すでに遅いようだ。

自由主義の伝統につちかわれた西欧諸国は、この自由を駆使しうるような大人を
つくるための子供の教

育は甚だきびしい。×

しつけ

×英国の小学校の先生
はムチをもっているこ

とが少くない。特に社会生活に必要な公德心を養うためには、子供は容赦なく訓育
される。外国に行つて日本のつもりで、他人が自分の子供の不作法に対し寛容にし
てくれると思つたらとんだ間違ひであつて、何よりも日本人に欠けている社会道徳
を子供の中に充分教えこむことが必要である。

1 「現地に行ったらすぐ覚えるから」といって外国語を日本では一向勉強しない人がいる。それはそれでもっともな点はあるが、そんな心がけの人は現地に行ってもうまくはならない。

2 移住したら初めの二、三年間でコトバは覚えること。さもないと所謂チャンボ
ン語で日常はどうやら間にあうので、それで一生終ってしまう危険がある。

3 語学の勉強は「ズ
ーズーシク、ヒルマ×
コ ト バ
×ズ、アキズ、シツコ
ク」というのが原則で
ある。

4 コトバの分らないものは哑でツンボである。すべての社会的娛樂から遠ざけら
れ多くの成功から見離される。

5 以上は原則論でかなり例外もあること故、神経質になるには及ぶまい。

サイン

奇妙にも日本では、実物の本人よりもハンコの方が重んぜられるが、外国では、このハンコのかわりのサインなるものが重要である。従ってサインは

1 やたらにしないこと。(めくら判で全財産を失ったという話はサインについても同じである。)

2 一定していること。(銀行に届けたサインと、引出すときのサインが異ると自分の金でも引出せなくなる。)

3 他人が簡単に真似できないものであること。(必ずしも明瞭に読める必要はない。)

ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	フ	
N	WA	RA	YA	MA	HA	NA	TA	SA	KA	FA	
	(I)	RI	(J)	MI	HI	NI	CHI	SHI	KI	II	
	(U)	RU	YU	MU	FU	NU	TSU	SU	KU	UU	
	(E)	RE	(E)	ME	HE	NE	TE	SE	KE	UE	
	(O)	RO	YO	MO	HO	NO	TO	SO	KO	OO	

へボン式ローマ字

郵便

日曜	週日	L・T	普通	印刷物	飛行便	飛行便	普通印刷物	日本宛郵便料
九五三・五〇クルゼイロ	一、一九一・六〇クルゼイロ	七五六・八〇クルゼイロ	三四四・〇〇クルゼイロ	一〇・五〇クルゼイロ	一一・五〇クルゼイロ	一一・五〇クルゼイロ	七・〇〇クルゼイロ 二・八〇クルゼイロ	
		日本宛電話料金		日本宛電信料金				

三と一分の増し	一と一分の増し	一と一分の増し	三と一分の増し	金と二語の増し	金と三語の増し	金と四語の増し	金と五語の増し	金と六語の増し	金と七語の増し	金と八語の増し	金と九語の増し	金と十語の増し	金と十一語の増し	金と十二語の増し	金と十三語の増し	金と十四語の増し	金と十五語の増し	金と十六語の増し	金と十七語の増し	金と十八語の増し	金と十九語の増し	金と二十語の増し
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

日本への手紙の出し方

差出人氏名

住所

〇〇県△△郡
××村

山田六郎様

宛名

Japão

宛名は氏名と JAPÃO だけで、詳細は、日本語で片隅にかけばよい

エチケツト原論



ある学校の先生の話によれば、「生徒に対し礼儀作法を守れと言っても言うことをきかないが、エチケツトを守れと言うとよく従う」とのことである。礼儀作法であれエチケツトであれ、名称は何れでもよいが、これらは外国に行く人々に特に必要であり、食事の仕方、挨拶の方法等は日本とは全く相反する場合もあるから、充分意を用いて習熟するよう心がけねばならない。しかし実はエチケツトの細かい技術的なことで日本人が外国で恥をかくことは珍しく、外国人から軽蔑されるのはもっと本質的なことが多い。それは我々は外国人が箸を使えないからといい、又は障子のあけたてが下手だといって嘲笑うことのないのと同様である。

酒を呑んで放歌高吟するのが悪いのは東も西も変りはないし、食事中大声をあげたり、大きな音をたてるのは、日本でも無礼ということになっているはずである。人前で居る

たなく胸を広げたり、尻をはしょったりするのは、日本人とて賞めはしない。

明治初年、岩倉具視、大久保利通の一行が特派使節として欧米に赴いたときのことである。彼らはもとよりナイフの持ち方もフォークの使い方も知ろう筈はない。「エチケツト」などという言葉はきいたこともなかったであろう。しかしながら日本古来の衣冠束帯で外国人の前に現われた彼等は、その立居振舞が気品高く優雅なことにより、何れの国においても絶讃を博したのである。それは恐らく彼等が武士的礼儀作法の真髄に徹していたからであろうと思われらる。

それぞれその土地の習慣である「技術的エチケツト」も大いに練習する要はあろうが最も必要なことはどの國にも通ずる「人間としてのエチケツト」を身につけることであらう。



エチケツト各論

挨拶

- 1 先方が挨拶の声をかけたときは、必らず同じように声をかけて応える。
- 2 握手をするときは胸を張つて堂々とし、握手をしながらペコペコおじぎをしないこと。
- 3 女性から男性へ、上位の者から下位の者に対して先に手を出すのが原則であつて、この反対はさしひかえること。
- 4 女性が握手するときは軽く手を出すだけにする。ギューと握ると誤解される。

服装

- 中南米はカトリックの国だから服装については、万事簡便を尊ぶアメリカ人などと違つてなかなかやかましい。
- 1 教会に行くとき、人を訪問するときなどは身なりを厳肅にし、アップパーや下駄ばきはいけない。
 - 2 婦人が袖をびらびらさせたり、男性が羽織、袴を着たりすることは珍しがられるかもしれないが、必ずしも感心されないから特別の場合を除きやめた方がよい。

- 3 無精ひげ、バサバサ髪等日本男子が伝統的に好む東洋豪傑的風趣は甚しく嫌悪される。
- 4 男女を問わずやたらに肌をあらわさないこと。
- 山奥の一軒家でない限りふんどし姿で夕涼みなどはいけない。
- 5 男は半ズボンをはくときは、膝までくる靴下をはきケズネを出さないこと。

食卓の注意

- 1 食器や口で音をたてないこと。特にスープを吸うとき音をたてないこと。
- 2 スープはスプーンを手前から皿の先の方へ押してすくうこと。
- 残り少なくなったときは、左手で少しばかり手前をもち上げて傾けること。
- 3 ナイフでは食べ物を口に運ばず、必ずフォークを用いること。
- 4 パンはナイフで切らないで、口に入れるだけ手でちぎること。
- 5 ナイフとフォークを使うとき、肩をいからしたり、胸を楹にはらないこと。
- 6 果物はかぶりつかないで、皮をむいて適当に切り、フォークで食べることに。
- 7 スープの中にパンをひたしてたべないこと。
- 8 フォークやスプーンを口に運ぶようにし、その反対に口をフォークやスプーンに近ずけないこと。

そうすると動物のようで品が悪い。

べからず集

- 1 頭を丸坊主にかること。(イガグリ頭は罪人の印である。)
- 2 人に会ったときペコペコおじきをすること。
- 3 他人の部屋にノックをしないで入ること。
- 4 金銭を示すときに、指で輪をつくること。(これはあちらでは×部を示す。)
- 5 屋内はもとより、道路等でやたらに唾をはくこと。
- 6 多額の現金を自宅におくこと。

女性べからず集

- 1 人の前で子供に乳をやること。(必要やむを得ないときは、ハンカチ等でかくす。)
 - 2 しやがむこと。
 - 3 子供を背中に負うこと。(背中に負うと猿といわれる。)
 - 4 必要以上に遠慮すること。
- #### 不幸時の注意
- 1 道の途中で盃椀車にあったときは、必ず立止り脱帽して見送り、婦人は胸に十字をきること。
 - 2 知人の不幸には花を贈り、悔み状を出すこと。弔式の後の飲み食いは絶対禁物。

自画自讃

外国では贈物を受けた時は日本のように客が帰った後で包を開くのではなく、その場ですぐ開くのが習慣である。贈物をする時は「つまらぬものですが」などと謙遜しては先方が「何故つまらぬものを持って来た？」と思わないとも限らない。こういう時は「スバラシイものを持って来た」とか「あなたが喜ぶと思うから贈る」というように日本とは反対の表現をとるのが普通である。

もうケツコウ

日本人は酒をすすめられると「もうケツコウです」と一応はことわる。東洋人は別だが西洋人に対して心にもない遠慮をすると先方は極めてアッサリとすすめることを止めてしまうから飲みたい酒も飲めなくなるし、せっかく御馳走に行きながら空腹をかかえねばならないことになる。ほしい時はほしいとアッサリいうことが必要である。それと同時に飲待するつもりで西洋人にはやたらに御馳走などを悪じいしないことも必要である。

ニ ヤ ニ ヤ



小泉八雲以来「日本人の微笑」は世界的に定評がある。初対面の人に会えば何となく微笑するし、悲しみに出会ってもにこやかにほほ笑むことは少くない。この微笑はある時は先方に対する好意の表われであろうし、ある時は内にこもる悲哀を、外に現わすまいと努力する「東洋的美徳」の真髄でもあろう。

しかしながらこの日本人の微笑は、外国人に感心されることも多いが、また反対に誤解されることも決して少くはない。

何となくニヤニヤ笑うことは人によってはこれを狡猾と受取る人もあろうし、馬鹿にされたと感ずる人もいよう。特に言葉があまり通じない間で、相手にやたらにニヤニヤされては薄気味が悪くなってしまう。

ペラペラと外国人に話しかけられたとき、ほんのカタコトでもよいし、カタコトも知

らなければ、たとえ日本語でもよいからなにか返事をする方がよい。言葉というものはそれが発音されると、怒っているのか喜んでいいのか、外国人にもおのずと理解されるのであって、正確な意味は分らなくても意思はある程度交換できるのである。

女性については、このニヤニヤは特に謹しまねばならない。日本の女性の愛きようのよさは既に世界的に定評のあるところで、これは日本航空の国際線が日本娘のステューデスのサービスを売物にしてドルをかせぐ所以でもある。

しかし愛嬌の過剰は屢々媚態や嬌態に通ずるのであって、女性の「過剰なる微笑」は「過剰なる好意」すなわち「ウインク」と認定される危険がある。最近の美容衛生学の教えるところによると、表情を動かし過ぎると、コジワの発生が多いとのことであるがその意味からも日本女性は、見知らぬ外国人にやたらにニヤニヤするのはひかえた方が得策である。

南米買物心得帳

「何とか祭り」「大細ざらえ」「何周年記念売出し」等々二割引、三割引、さては五割引などという広告は、毎日のように新聞や街頭を飾り、購買欲をそそっている。

七軒に一軒の商店という世界に類のない小売商過剰の日本では、競争はなかなかはげしいようである。だが日本の値引は、商人があらかじめ何割負けると宣告してあるのであって、顧客との交渉の過程において値引するのではない。もちろん今日でもいわゆる「まけさせる」ということは相当行われているようだが、商人の「かけ値」はほとんどなくなっているようだ。しかし、かけ値が姿を消し始めたのは、日本でもそう古いことではなく、大正以後勃興したデパートの正札販売が、かけ値の衰退に決定的影響を与えたように思われる。

ところが、昔の「シナ」もそうだったが、中南米にはかけ値販売がいまだに多く、特に用舎の店、それも小さな店ほど多い。うまくすると五割から六割もまけさせることがで

きないこともない。負けさせるコツは、決していくらにまけるなどこちらから値段をきり出してはまずい。まず「たかい、たかい」と連発して相手を心理的にたじろがせておいて、先方がどの程度負ける意志があるかを偵察する。そしてもうこれ以上負けないとみたところで、こちらから更にそれを下回る値段をきり出して、どこかの国の政治のよりに両方の値段を合せて二で割れば大いにもうかるというものである。この際、大切なことは、どうしてもほしいような顔をしていけなく、あまり無関心をよそおってもいけない。安ければ買ってよいというような半身に構えることが大切である。場合によつては帰りかけたり、又は棚ざらし品を、戦時中は買ったように、だき合せ購入したり、各種の作戦を組合せることが必要だ。百円ぐらいの物を買うのに半日間も商人とやりとりできるようになれば、南米的ノンビリを充分身につけたといふべきで、この種の人を将来大いに見込みがある。しかし、あまりまけさせることに趣味をもちすぎて、価格の定まっている切手やタバコを買っては、買物をしたような気がしないようになっても困る。「まけさせる」といっても、一流店に入っしてこくねばっては馬鹿にされる

だけで、日本人の面目をつぶすことにもなるから注意しなければなるまい。一般的にいえば、店が小さくなればなる程、首府または中心地を離れば離れる程、かけ値の巾は大きいといえる。そして行商人ともなれば大將級である。

南米を旅行したときのことであった。かねて聞いていた通り、大いにねぼって当初の値段の半分近くに負けさせることに成功した。思う通り負けさせたときは、何か勝負に勝ったときのように爽快になるものだが、意気軒昂として、ホテルに帰って包装を開いてみると何辺数えても数が足りない。先方は単価で負けて個数でとり返したわけである。敵ながらまことにアップルであった。

連
発

「先日是有難う」「先月は有難う」「去年是有難う」というように日本人は人に会う度に礼をいうが、こういう習慣は外国にはないからやめた方がよい。「又やってくれ」あるいは「もう一度下さい」という催促と感違いされるから、必要な時に一回だけ「有難う」といえば充分である。

移住して功成り名遂げた人の中には後統移住者の面倒をみることをあまり好まない人もいる。人の世話をすれぱうまくいったところで当りまえのように思われて感謝されることも少い場合があるし、反対にうまくいかない、折角の好意や努力がかえって恨まれるというような破目に陥いることも多い。従って面倒なことはやめておこうという気持になるわけであるが、自分がかつては如何に渡航したかったかということを是非思

いおこすことが肝要×

山田長政の子孫

×である。そして、余裕のできた後は若干の

不利を認んでも後輩を呼ぶようにしてもらいたいものである。かつて十五、六世紀頃、日本人は海外へ大いに飛躍し、特に今のタイ国には山田長政を盟主とする万を超える人々が定着していたが、今はその跡かたもなくなってしまった。それは、後統が余くとだえたからであることも記憶するに足るであらう。

地球の大原則



地球の大原則というと、二十四時間で一回自転し、三六五日で太陽を一周するというようなことが考えられようが、次のようなことも忘れては困る。

即ち北半球であろうと南半球であろうと、とにかく同じ人類なるものが生きて働いているこの地球では、

- 1 楽をしていれば食えなくなるし、
- 2 少ししか働かない者は少ししか儲からないし、
- 3 うんと働けば産をなすし、
- 4 酒と女とバクチにうつつをぬかせば身をもち崩し、
- 5 努力なきところに成果はない、

以上極めて当り前の大原則だが、人間はともすれば、地球がぐるぐる自転しているこ

とは忘れがちだし、「太陽が地球の周りを廻っている」などという錯覚も起しやすい。
そして南半球も地球の上なのだから、この大原則の例外でないことは当然すぎる話で
あろう。

要は「当然すぎる話」を実行するか否かということである。

334403
Ni
10

334 403
Ni
10